慶祝に賑ふ帝都

汪精衞氏の辭職 公南京人

で重要會議を開き汪精衞氏の解職とともに胡漢民氏は唐春入りますは三十日マニラから不勝に郅鞠する學堂の領林氏を会見の後上海に軽くに決意して

總攻擊開始

は職種軍の先鋒たる共産脈徒の前一英國海軍さの實質いが、職種北部浙江東部において「所定の限度迄米國」

我意嚮を顧慮し

學良の北支復歸請願

が、個民歌がは日本の意味を が、個民歌がは日本の意味を が、個民歌がは日本の意味を が、個民歌がは日本の意味を が、個民歌がは日本の意味を が、個民歌がは日本の意味を が、個民歌がは日本の意味を が、個民歌がは日本の意味を が、

した。その結果沈光漢部隊は膨緩の一十九路軍

加へて居る、有計畫家は二

概念に を暗戦に各方蔵で際始され を暗戦に各方蔵で際始され

中力さ名目上地等の勢力

▲竹澤卯一氏(關東軍

してゐる文で

再び來朝

午後三時養の桃車で別所に配つたと一旦時間とた李澤一氏は昨日午と一旦時間とた李澤一氏は昨日午に長崎道一大は昨日午

重要使命を帶び

と落合ひ、四日齢就することと 社会 同窓側施設な勘察のよ、更 環東は二十八日午前九時便新海に 東京特電二十八日午前九時便新海に に敦賀に向ひ北峰さの船車連 山崎滿鐵理事 新潟、敦賀視察

わが政府に内意を通達

でで、これは満郷が北郷と新郷間。 の定期航路を開設する上において でである。 は のる同胞、祖国日本は、津々浦々 まで練喜のルツボさ化さん。

せいから、小見は喜

こんで 服用します。

| 類は明春二月頃で純珠の御信任版を擦襟と宮中に参内、執珠の名義をもつて皇太子御誕生||東京二十八日養國通]| 駆纏弾は日本郷野さ平和職像に鵬し意見の変換に来朝さ内定、表践に影能定、殿国鵬像の根本輸立に伴ふ基本的協議をなすこさがその使命であるさ解せられる思法能定、殿国鵬像の根本輸立に伴ふ基本的協議をなすこさがその使命であるさ解せられる

殿下御誕生奉祝の御親書を捧呈すること

、国務課型と

してわが首相その他に食見

生機論を記上する事になってかり、歌呼に都合を聞いて来た、管理する

着々進行せる一

隴海鐵路當局の報告

臨時の碼頭

東京特電二十八日發一四年

高く、霊居の空にひょくまで。 世

年末年始發行

でする、全長は六百尺であつて地震に接近しで塊を以て 情、樂され 山頭挑戦鳴一帯に防変場一選を築っている人風が地頭の工事を阻碍する で三百六十尺、貨物銀座物置小屋・ 製造に保護し得る機になって居る、 をに保護し得る機になって居る、 をに保護し得る機になって居る、 をは保護し得る機になって居る、 防波堤の築造海上か

煙草を練る税のスキャンダル、

カレンがの残り少なや師走風る 本年もあざ三日

て腕がわなわなさ慄えた。

てゐながら、身動き一つ出來ない 女の腰が強い力でぐいさ男の方教山の顔が上に酸ひ延つて来て

から 間めた はに、 舌の白田を取ってりを寄せられた時、彼女はぞく

一次から地つたでせうり以後はれが 一般が月を髪してるる海は最 一 かって種がに軽なって、火の様に燃 唇の上に、燃し今度は前よりもで のとない、悪い彼女のわななく

手が、解かに、難しく彼女の背 男の大きな THE STATE OF THE S を防ぎます。

> 第一に選ばれるり 小見せき薬の

たり、関重や胸部に苦悶をしたり、食欲を失つ

仕末が思いものです。

ミッシンは如何に虚



長谷川中將

一旦南京に帰ったが中央側のに飛んで軍事制備を指揮した

が一月八日再開するこさいなった

れてるたが、二十七日午後突然運 ても運動に加はらず態度場間離につい ても運動に加はらず態度場間離につい

身體は小柄だが

選舉法改正

會頭辭職商議

來月審議再開

裏に何等か魂膽

る。食頭カバルキン氏は漏別官派

た、この種食分に管臓の聴躍したの言論歴道なりさその異で影戦

延建省主席に 薩鎮冰氏就任 職制發表期 水道調査所の

通關事務 航空小包郵便

氏は去る二十三日「都長大山文雄氏の後位さして第三」作簿卯一氏は撃身二十八日入港香源されてゐる、戦」本省送移局長に榮韓の關東東法務「即應送務部最より駐浦に決定せる

の間に

因縁がある

竹澤法務部長來任

で建造

きょなった 岡本前海務局

保証を関することになった前間東郷海は保証を開き、 に けつく様に燃えてるた。(愛してかかった。それであて卓髄の芯は焼いかった様になってあて動けなど、かった。それであて卓髄の芯は焼いかかった。 答へて、一二歩智子の方へ場

長赴任

近の様に威嚇的にのとかいつて水 豚の中に彼女は一瞬にもて投げ込 以大きくだいた限を大鶏との霧 意識するには餘りに大きすぎる衝 以大きくだいた限を大鶏との霧 意識するには徐りに大きすぎる衝

へ二十八日出駅のはるびん丸で駅。 た波邊新局長さの事務川観ぎを了

りで対にはそれが強ってるないの はだよ、れほんさにますることを知 智子は答へなかつた。障いた神

て云ふ女に秋山は楽者いた繁で、 売らた自で男を見つめた。 機川が立ち上るさ、機子も引き やしません。君は

長い間さうしてるた様で の息苦しさの中で、次策に沿つさ地をしめられる胸苦しささ、接吻 秋川は静かに顔をあげるさ、 してあた。

らげ、病症の悪化 良く作用して、 しい『せき』を和 寝て居る内に

ミツシンを與へれ寝る前に一匙のチ 百日咳 胸れになります。 つでも「せき」が前 これらの病氣はい



集が二十七日は戦から言、そ

より進かく 動走も押せまつて 1 は多つて時々サッさ陽の目を見に乗って時の大連は一度で昨日の除撃時

不連續線が目まぐるしく狂び始

師走

足許御用心

歴さの関係より風は東北東に流

南部線で一番組造の低いのはハ

海両方の低点

が概念にないらしく、その代りたりから少しくだり気味になる

「流並びに内地南方洋上の破津

どこまで續くぬかるみぞく

(日曜堂)

平校

萬九千八百七十七圓さいふだく

八十萬圓は費つた

本年度滿洲視察團體

萬五千七百名が

外七海艦の浦人都深を融い國場家の大部に総合の一十名の無威が安東附属地で、一十八日東京の一十八日東京の一十八日東京の一十八日東京の一十八日東京の一十八日東京の一十八日東京の一十八日東京の一十八日東京の一十八日

人質に拉致逃走した

匪賊頭目の

射殺懸賞

鮮妓心中

てゐるか?大連署司法係の調査に

までの現金被害高は十四萬本年一月一日から十二月廿

日

・ である、これを各地報別に示すさ、年間期に比し自十九酸性工手三百 中期に入ると共に一般深の終さなといる。これを各地報別に示すさ、年間期に比し自十九酸性工手三百 中期に入ると共に一般深の終さなといる。これを各地報別に示すさ、年間期に比し自十九酸性工手三百 中期に入ると共に一般深の終さなる。これを各地報別に示すさ、年間期に比し自十九酸性工手三百 中期に入ると共に一般深の終さなる。これを各地報別に示すさ、年間期に比し自十九酸性工手三百 中期に入ると共に一般深の終さなる。 であるが満州戦事工作が本年下である。これを各地報別に示すさ、年間期に比し自十九酸性工手三百 中期に入ると共に一般深の終さなる。 地面のぶ つたに伸び戦事励保能性は五順性の表情にある。 地面のぶ つたに伸び戦事励保能性は五順性の であるが満州戦事工作が本年下である。これを各地報別に示する。 地面のぶ つたに伸び戦事励保能性は五順性の であるが満州戦事工作が本年下である。 これを各地報別に示する 中間 に対し 日本名を地面してるる。地面のぶ つたに伸び戦事励保能性は五順性の である。 地面の流

七百二十四名を減じた ・ はまた本年中の順糖族客権送によ ・ はまたなは少なくさも八十萬 に落とた金は少なくさも八十萬 に落とた金は少なくさも八十萬 に落とた金は少なくさも八十萬 に落とた金は少なくさも八十萬 ・ に変しためる

勝王殿陽等の大原町本師ら都水脈 を対か正さ着々その能識を乗げて を対か正さ着々その能識を乗げて を対か正さ着々その能識を乗げて

時頭交通部運転手金製が市内権ケールの農業に世を惨んで運転手を鉄

中國共產黨員

東京で檢學し

萬圓に上る

大連署司法係の調査

した世相の一郎層が窺はれて他決策期に多く費生しことにも混

安東郊外を襲

5

七道溝に匪賊四十

更に本年は殊に詐欺横領の被

てゐる、辞默、機領の智能犯は三

情報(物品被害)五〇、五七〇 | な外にする行樂季節の四、五、六 | 計版 | 現金被害 | 三六、三一〇 | 密覧機需季節は何んさ云つても窓

三二年度決算の

皇太子標御生れ遊げされて早 るさいふ最も強い消儀にる クスに達すべく、この日大連 二時過ぎ大連輓職大鳥居前に除下が続く物総名あらせら 奉職報分はまさにクライマッ 分より銀行郊行邀を際給し十代に海浴源の御傷の後、御 満各地の制蔵 みて語ぎ奉る なごな行びたるのち十時二十代は海浴源の御傷の後、御 満各地の制蔵 みて語ぎ奉る なごな行びたるのち十時二十代は海浴源の御傷の後、御 満谷地の制蔵 みて語ぎ奉る なごな行びたるのち十時二十代 は海浴源の御傷の後、御 満谷地の制蔵 みて語ぎ奉る なごな行びたるのち十時二十代 は海浴源の御傷の後、 原徳の はいい 最近によるといい。 では中央公園内溝供グラウンスを修御生れ遊げされて早 御命名式を執り行はせられ、 では中央公園内溝供グラウンスを持御生れ遊げされて早 御命名式を執り行はせられ、 では中央公園内溝供グラウン

常女にて市民大親質会

今曉大雪に紛れて

昨年よりも激加 十一月末現在で五百名檢舉 | 1号() 全部(合) | 1号() () 全部(合) | 1号(1) |

日間の野については、東市経についてはが同氏が

民職を現地にて破残中であつたが 海町年に庭る漂浦甲佳木町屯螺移 民論を執筆 泰來公司の長男

てゐるがその内日本人は三百 三名、漏支人四百二十四名、

白衣の勇士 特所長より一場の診話をなす苦で も残業の上一同を教育堂に集め営 は管日は紅色の俤を配給し、作業 の大型を表し、作業

満洲入り 安東を通過

『安東特體二十八日韓』シカゴ博 海峡館の海峡温間で四萬人中から 海峡館の海峡温間で四萬人中から 東特體フランシス・ロビンソン峡 ス海峡フランシス・ロビンソン峡 日午前七時安東派通来天に向い

女具と玩具で知られてゐる

每

日

舍

寄附强要 奉祝會で

所 久 保 洋 行 大連市伊勢町

泉太子殿下が御縁監避ばされ画氏 を受けたともって山脈道りの 本の男はルンベン風で他に連繋道り を受けたともって山脈道りの 本の男はルンベン風で他に連繋道り で受けたいの如く何々舎社よ で表表をもって山脈道りの は調査の歩を進めてぬる を受けたいの如く何々舎社よ の地で他に連累が でである。

【東京二十八日登岡通」警機殿では南京政府の供標により機により機に支那でもの三名を機器留置し取課で中でものこれが何れら中順級機器設立してものであったが何れら中順級機器設立していまったが何れら中順級機器設立していまったが何れら中順級機器と変れるであったが何れら中順級機器と変れるという。

旅順刑務所

後四時出帆の照風丸で内地へ

あす免業

紅白餅を配給

胃

腸病

中央國旗店 一劑 约二十日分 金一圖二十錢 特約店

樂州案內進品

大連市伊勢可 卑天富士町

福音洋行

命

明サ九日は皇太子殿下の

~ 天気予報

段謹告住候八日午前七時死去致候間御通知二代へ此八日午前七時死去致候間御通知二代へ此

本年中人員 前年同期比

少年轢殺 旅順乃木町で スが

時五十五分ごろ版

にて療養中であつた酸棒総称専民にて療養中であった酸棒総称際民産の産産病を得て製地の能産病院 三十日に凱旋 ミス滿銭が

奉天土 八通 商 品 份 。 。 。 。 。 。 。 。

ニワ樂器店

右條件にて一名採用希望者は機脈で、平線監案を業程度で、立事に選びたる者で、全様に選びたる者

ホワイトホース 加藤迄

銀座會館燒く

被きのカフェー鍵®を創設ニー十七 に依つてきんざかいてゐた鍵座目。 に依つてきんざかいてゐた鍵座目。

凡ゆる症狀の適藥あり慢性胃腸病の445三劑併用奏効顯落なり

けふの御用

納めに

内四郷は、二十八日午前十時より | 香は現在郷町七百七十六名な郷大迷、水上、小端子、沙河口の市 | 旅順和務所に在る深地を外の在

ら最大二階を部を焼いて十一時

各署非

常警戒

口密造工

屋間卸放

明廿九日は皇太子殿下の御命名式に付祝意を表も組合銀行は臨時休業可仕候 中和八年十二月廿八日 一明廿九日は皇太子殿下の御命名

北西の風(曇)後睛

遺書發表 日間の和無経成に全力を注ぐこさ

新年の御買物は浪華洋行

お正月の御召用ごして

小田原で自殺業 一高に留學中の陸上選手

進致します。

年

年

始の

進物

には!!

5

12

◇一個以上如何程にても箱入として調



受けて重賞 便 ◇お電話下さいますれば迅速にお届け 申上げます。

本 店——大連大山通三〇

支 店==奉天青葉町二〇 電話二二六一二番 電話 四三二四番

世七日よりセーラー及びパイロット萬年筆デーを開催 買上一割に相當する各インキを景品として添へ毎日含獨特のサービス販賣中の 大連市西通(常盤橋停留所前)電話八八三八番 トキワ橋ガス前毎日舎では本年の掉尾を飾る可 筆 デ

炭暮大賣出 返金致ます。他に本品以上の味良さ品や 三四五十段四五十段回

り値の一割口銭で取次ます ・ 大五 十 毎 編入 三 風でポンけ ・ 大五 十 毎 編入 三 風でポンけ ・ 大五 十 日 編入 二 風 五 十 年 日 一 風 五 十 年 日 一 風 五 十 年 日 1

栃木農場販賣所

内地送リンゴ二月迄扱ます 大連市西廣場角 大連市西廣場角 ホメオパシー薬剤で快治する

キヤングと探偵小説家腕比メトロ最近のすぐれた喜劇

リーネ・デイトリツ

返

8

返金自

古帯道具の舩塚

戀の

合せてゐる。

「おぼえがあるか」

旅順映畵館正月陣

中國製高級煙首

口付

一下へく、どうも間かみません。そ ボー人権にさられたではないか」

十五百九千九第

て、 特別の死隊を向ふの者が、 お演の者には風気の者

日

機に起った火の手だも

たちの仕わざだって来は

しながらお鞭は、機な向いて暴吸と をうたつてゐる。 五郎兵権が、熱火のやうな勢の でふりむ、こましま

してごころか、お演御殿で

關東煮を

\$

始め

「五郎さん、私です。御安心な 血は血を招くGID

「では一先づ、私のうちで落ついて、又山ごとに落ちのびる工風も

善鬼惡鬼

(301)

科 眼 鏡眼方鷹

年内餘す三日

山蘆江

悤

そんな小指一般で

さくら鮨

せ

な

ではなかつたか」 ではなかつたか」 こなごちは踏みませ

「ほほほ、こんな職権もの んださ云ったのは、

大連映畵街 五郎兵衛が挙をにぎつて、

新春番組 月プロは左の如

月西洋料 理

今年も是非御用命願ひます毎年御高評を得て居ります 大連亭本店



日本ビクター蓄音器會日本樂器製造株式會

社社

極賣捌元

大連市信漕

辰里

洋服類產變 统後壓够店

振りた。温田糸店 チ裁針ヤ縺・コ具紐

お可愛いお子様の為に K パ様の御英斯で

御家庭が明るく いつも朝かな御喜びの内に

情操の御教 0 1 8 素養にも 養にもなり なり



價五百圓以上

潘洲總代理店上野媒局大連市聖德街三丁目 けん けん が、マ経人 どけ腺疾ス痛病。 類似品さ御比較あれ

29日

奉

洋

浪速町賣店 電四三一〇電話四一四八・四一四九

新華京大演通道リリ

福麗町 石五(幼稚園前)

不倒子掉尾の 奉 仕

今日から大晦日迄 ワイシャツ 二割引 割引

會葬御禮 守

皇太子殿下御命 祝 大 舞

別でサービスいたします赤津洋服店 オール・ダンサ合唱 踏 口

重

州内モチ米特選品 一升肥前モチ米 海川の共進洋に

E

來る廿九日限 詰

製致します 金七圓以

例年の通正月用御重詰調

第二十二二〇番

御用命の程順上ます

三回間 浪速町伊七町角 カバン・毛布



新年の御用意は 浪

段御通知に代へ越告仕候置院へ入院加寮中の處藥石効無く十階院へ入院加寮中の處藥石効無く十

御贈答用も御召料も

平素一銭の割引もせない店

一年間の御愛顧に酬ゆる大擧仕

比律賞、支那、香港等

カリー の減さなつてあるが、棉花も二百八十七 風の減さなつてあるが、棉花も二百八十七 の減さなつてあるが、棉花も二百八十七

は、 く一部の機能を除けば輸入は料並 に果然は進度を形し、面も日本能 に果然は進度を形し、面も日本能

皇太子殿下御命名式の 大連組合銀行では選束 ささて平常画り燃業で つてゐたが、二十八日 鬼部日は体業し鑑んで 見なに決定した

物凄い輸入増加に

米に於ては百萬四千四

對日貿易飛躍的膨脹

本年度對外貿易

なり盛口税關では先月二十七日附に於ける濱洲國戦税調書の有郊駒

流の国際港警口安東の冬期結果中 流の国際港警口安東の冬期結果中

金な上下してる り覧施される旨財政部 選事務所管内の てゐるが、複石税徴収 選事を上下してる り覧施される旨財政部

特產市場

廿八日後

卅六億七千萬圓

た日前場限さ決定もて 十九日は皇太子教下御 十九日は皇太子教下御

入超四千九百五十萬圓

入計整輸 超計入出

三、六七七、四四五

大国二年より大同三年に至る結 大国二年より大同三年に至る結 大国二年より大同三年に至る結 外期間延長方を左記の通り定む 期間延長方を左記の通り定む 期間延長方を左記の通り定む 期間を受けては腹条溝に で、安東、管目(復州港を含む)各 での結水常日なに有効期間中に ある順税證書に付ては腹各溝に た ある順税證書に付ては腹格準に た

一株し下旬は谷縣の鎌京によれば一大千種餘の在貨を下旬に持越した

四個 医により前記様込に即って制造した。 一接線板の全能力な影響 管門は病論 を表する はの機会を決すする からので、此の機会を決すする からので、此の機会を決すする からので、此の機会を決する

なったので二十八日後

銀行廿九日

五社年内に假調印

結氷期間中

新京管內滯貨

年内一掃に努力

順稅免除

營口、安東兩港で

製。鐵。合。同

明春早々に創立

日埃貿易協會

食に望む方針を確立してゐると 本がに比ら十一億九千八億七千九百萬 地である。而して一昨年度の四十 地である。而して一昨年度の四十 である。而して一昨年度の四十 である。一般九千八百萬州の微 の減少に止ってゐる。 フメリカ整発省は十九日、一九 主要農産物には滅反を行ひ、その たけは昨年度の二十八酸七子九百萬 るのであるから、此の織管様はアルは昨年度の二十八酸七子九百萬 るのであるから、此の織管様はアルは昨年度の二十八酸七子九百萬 るのであるから、此の織管様はアルは昨年度の二十八酸七子九百萬 るのであるから、此の織管様はアルに比し十一酸九千八百萬州の澱 メリカ球所の戯行教演奏の城場を増である、耐して一昨年度の四十 能る一つの指針さもなる。

本渡方 丸禍十一萬二千、長聚隆一二萬七千、捣豐一萬、其他八千一萬一萬一萬
 九千、丸稲二萬六千、熱田一萬
 九千、丸稲二萬六千、熱田一萬

中込先大連對馬町三二縣 相場的中心

五品大

一九日はその御命名式電日 ので、発市場共破意を表 ので、発市場共破意を表

一大阪短期 一大阪短期 一大阪短期 一大阪短期 十一時 11万公 11710 十一時 11万公 11710 十一時 11万公 11710 十一時 11万公 11710 11年 11万公 11710

株(保合)

さ税關長之を決

廿八日限受渡

仕華紡好況 全運轉に近

ら五分に増配する品の如う の波瀾に終始、特意では

海爲替情報 城葉青雲風演主代一島小・郎三光門羅 卅 日まで公開

廿廿九五日 二十錢

麻袋保合

(四)

入機關へ擴充 輸入組合の積極的方針 關 カら

英油進出

創立委員會開催 席上公使館設置を要望

一次方 三井百七十二萬、聚滅和 三十五萬、縣畫二十二萬、
卷昌 元十九萬、外十九軒八十六萬 元十九萬、外十九軒八十六萬 受方
縣蕃四十七萬、義成信三 一十七萬五千,山本二十九萬五千 三菱五十一萬,山田二十五萬、 八十八軒百三十四萬 一大日 服織平駅の受測器は十四萬 七千順で標準値段は千五百三十五 田、此の金線二十二萬五千六百四 十五國である尚前限に比すれば十 三萬二千九百六十五國の滅少を示。 關長 松原梅太郎

地様はいづれも戦験を の職然は現験三十七銭 の職然は現験三十七銭 展三十七銭七厘、二月

110-00 110-00

況(共思

銀塊及爲替 調子報場「八片三分」 両条線「三仙三分」 東貫線塊ご留比三分」 ・チール「天井三分」

市場電報

1110

支筋及邦商の實物多く軟調・サリ豆粕、豆油は保合、高朝の定期は大豆は質物多く

| (大会の | 大会の | 大

動發用舶タボク

壬蕪 生千 100 話 加洋 ==

要行

(明 110-11) 先物 公1.00

> 屋河三の酒銘 十十二五

宫 東高町高瀬倉料 三河尾 瀬の生一本 忠 勇 瀬の生一本 忠 勇 瀬の生一本 忠 勇 瀬の生一本 忠 勇 が正月用品一切大勉强 が正月用品一切大勉强

突血質が下階明の優子を

物價吊上策反映 米農產價格增大

いた事が蝿る、その上ここに活動 を売した昨年よりも、監整帳の 数極端が大概に於いて減つである ・ 注要整帳に載いて昨年 の党政協さ水年の政極後部の大概 勝し質收高、他は月一日調査、小麥

を表して、 ・ 一九三三年 ・ 一九三三年 ・ 一九三三年 ・ 一九三三年 ・ 一九三三年 ・ 一九三三年 ・ 一九三三年

格さ過去数年のそれさとしゃ

林省水產局認 九九 の場はる次第を強れ来るいかかせられては更にあったのは、

れては更にお選びの上皇太子殿下の御名として御命名、御宸筆の御名には東道選中、既にての程御三種を得湯淺宮相の手許まで提出しあり、民及び帝大名素教授市村墳次郎博士、元帝室織修官長三上巻大博士の四氏に於て、てれを古今の故

行はせらる

はる御命名の盛儀を執り行はせらるし、くも天皇陛下おん親ら日嗣の御子御一生殿下いよく〜御健やかにわたらせらると東京特電廿八日發』大内山にお慶びの

一個一生の御繁榮を生

て三殿奉告の御儀

日

一業者のみの手に壁

報

二金金 金金金金 制二一十一五以则则 则上六三五二 加十十 十十 別試該 建铁镁

所行發 地香一冊可圖公東市運大 社報日洲滿縣

議會を目指さ 物る。農民救

負擔輕減 陳情·請願運動展開 肥資貸付を要求

東京特電二十八日發』 齋藤内閣の宿命的謎題たる救農對策問題は第六十五議會においても 「東京特電二十八日發」 齋藤内閣の宿命的謎題たる救農對策問題は第六十五議會においても 「東京特電二十八日發」 齋藤内閣の宿命的謎題たる救農對策問題は第六十五議會においても 「東京特電二十八日發」 齋藤内閣の宿命的謎題たる救農對策問題は第六十五議會においても

救濟に主 陸軍兵備改善費の使途

一の調和を得ることにつさめること 4000年

二十八日午前九時四十分官邸に永 特問題に就る今後の態度方針を て難任の答 裁は三十一日午後一時出

して市會に先づ李殿費五十萬個な ・大學行するが陸海軍各學校戦闘傷 ・大學行するが陸海軍各學校戦闘傷 ・大學行するが陸海軍各學校戦闘傷 通じ數樂の渦を整くが御名登



稲州爆撃に 怯まぬ福

恒氣勢を揚ぐ たばかりである。 人民政府は組 を決心である

東京市の賑ひ東京市の賑ひ

京 發射九千萬國民慶祝の整 徹意を表示する事となって を るる、自此の競五時頃野山海所で は由継楽寺御胞を関立り

公使に正式發令

オランダ欧州のアグレマンは二十大の東京二十八日養國道』オランダ 左の通り任命された。尚同氏の後

動學の機会に高

料的会談の中心問題さなつて居一 割當對買付品



ツ聯勞働者 勉强好きな

つてある、なほこれら新しい機性 うになった。

日印協定成立 出統制方法 民間側立案の細則協議 四億ヤ の資際の輸入量産定に の資際の輸入量産定に

輸出入三割餘增

前年比較 本年中對外貿易

製外電器は

輸出人共に

職

搬を

示

こ

十八日登

側

通

3

本年中の たが前年に比較すれば左の如くで

11

において四億七子三十七萬八子 順(三割三分八厘)なそれかく 増加し入超恒は前年の二子三百 四十五萬九子圓に比じ二子五百 八十九萬四子圓の増加を示した 而してこれに朝鮮及び薬膚の入 軽頼を加算する時は本年十二月

國線にも

電行の前途を注視して を避けてゐるがこれに關し を避けてゐるがこれに關し を避けてゐるがこれに關し を避けてゐるがこれに關し を避けてゐるが可成り を避けてゐるが可成り を避けてゐるが可成り を避けてゐるが可成り を避けてゐるが可成り 飛行 七日發國通 通告に接地 太平洋懐跡水 大平洋懐跡水 春決行 行は従来米海軍で試みられた

る月日

社長制廢止

べきであるさの壁前をさつて居る | 百五十萬飯に満たざる場合はその に以上この態度までの輸入を聽む が總布四億ヤード分に構態すべき に減年度制管験を假に四億ヤード き決定し さ決定し職き同年度の取憶質付録 は が年度制管験を假に四億ヤード まって廿六日の會談に於て日本贈利 非年度機化資付録を基準させ よって廿六日の會談に於て日本贈

熱命の変付を受け同十一時半幹去前十一時招移後に成井招根を訪い 前十一時招移後に成井招根を訪い 東京特電二十八日暴」酸低に拠

が海軍當局冷眼視

既定計畫遂行のみ

擴張は

高山東拓總裁

重任辭令下

每月拂金一圓八十錢 医科金十六線

政策の人氣挽回軍さ

新杓墨書で302222 松本卓夫等院の庭園歌624222 松本卓夫部院の庭園歌624222 松本卓夫部院の庭園歌624222 松本卓夫部院の庭園歌624222 松本卓夫部

全國書店に在り乞ふ實物を見ら即日初版賣切・本日より三版發賣風の如き絕讚に迎へられて配本

第一回配本(新典體質五七份)

所謂蘇解蘇入の數を

社民間信仰に至るまで、鉄にも横 とい現代に及ぶ、神道、作数、基 と関係では、関に綜合的大勝底と

講座の特色

(三十講) (三十八講)

(四十二講) 十五 (五十四講) (五十二講) (十七譯) (廿七講)

神皇 道 神 大

講座を再び期待するここは出來把握せられる。これ以上の優秀、本講座に依つて日本宗教の真 ·佛教·基督教·民 する日本宗教 の要求 ぜらる

けること、なってあるので動物は

地、戦略文は北浦戦路さの連絡通地、戦略文は北浦戦路で行成の大連、芝罘海底線を押て中戦比層及び以上では日本政府所属の大連、

等所同政府の観覚なる監督な受

方共に均しく政治嗣新の必要があるを免れない。此際中央

の状況は大糖前派の通りであるが

一、土地の東用、線路の建設、交 通時間の利用、料金の微収等に 対官業さ間嫌の特権な異へられ のでは、変

等の使命を有するのである

消河電~會社總裁山內 移夫

と將來

な事は不正であることを明

、昭和九年度關東歐後第さして一正式に関東歐に電報があった、右下に丁業變校を設立する事に淡。 ぬたが、大蔵省の資定において削縮設の要認を参れ関東歐では大善各省さ指敵し抗務省の誤解も得て解説の要認を参れ関東歐では大善名さ抗敵し抗務省の誤解も得て解説の要認を参れ関東歐に電報があった。右下に丁業變校への入機都緩和、中等學一部上し、中村財務局見測行、關係

削除の對策無し

開東廳當局大弱り

電氣通信事業の

1 大大学 (大大学) 1 大学 | 1

まづ奉天以下八驛に實施

満洲鐵道獨特の

"無改札制 解消

について関東殿宮局を訪ふさ 九分九厘まで告って居ればよいや うなものだが、さう暢系な事も いつてあられない、非常時後 だから常方のよい導てかりにも 行かず弱つてゐる、今の所この 間題についてはどうする事も出 來す何も考へてゐない

三線のパ 來月運轉開始

所敷の電信機器は「直接板」、「年間の 所敷の電信機器は「直接板」第三千 所敷の電信機器は「直接板」第三千

本年八月末一大鹽底が配行した。 一三月二十六日を以て日流合地流州電像電話株式会 一日流合地流州電像電話株式会 であた電魚通像部の際が配行した。 であた電魚通像部の際が配行した。 であた電魚通像部の際が配行した。 であた電魚通像部の際がにより であた電魚通像部の際が配行した。 であた電魚通像部の際が配行した。 であた電魚通像部の際が配行した。 であた電魚通像部の際が配行した。 であた電魚通像部の際が配行した。 であた電魚通像部のの際がにより でするたを上端別に於て有機熱網の際が配行した。 でするたを上端別により でするを上端別により でするを上端別により でするを上端別により でするを上端別により でするを上端別により

中一、民間所有株の配常金が年六分 に達する迄は政府株には配常を 要もないこさ等種々の特権を賦 奥せられるさ同時に、一面別國 奥せられるさ同時に、一面別國 奥せられるさ同時に、一面別國 奥世られるさ同時に、一面別國 東世られるさ同時に、一面別國 東世の計画を 東世の計画を 東西別の選及所 東西別の選及の選及所 東西別の選及の 東西別の 西西別の 西西別の

を性性保及技術に至る二本の海底線 ・ 変に東京、大阪、下職、京城等に ・ 変に東京、大阪、下職、京城等に ・ 変に東京、大阪、下職、京城等に ・ 変に東京、大阪、下職、京城等に ・ 変に東京、大阪、下職、京城等に

る、既に満洲における地理修、政治的中心地である新京窓外に工製 一二百萬餘側を投ご報な大無機局が 型能されつつあるが、来養験工の 上は近く國際通信上に一腕力を加 してある事さ館でて居る

でない事は定数に於て配常の制度 も概定して居る一事を以ても節な が、治髪の確立を挟げ、女化の能 も一種である、電氣通信事業の駆け を事業の統制施設の整備模型を付 が、治髪の確立を挟げ、女化の能 は、治髪のできなが、関助の安固を確認を を関する。 【奉天特卿二十八日韓】 依つて世界各國での間に電

金音板省支部洲線の下に延吉、

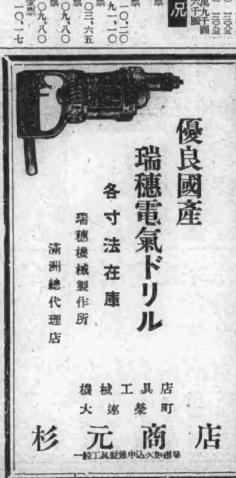
體育協會縣

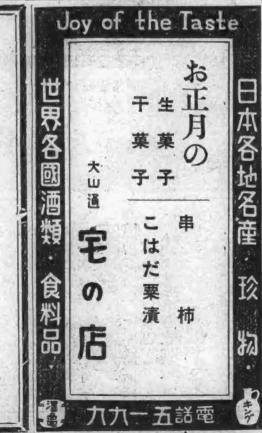
(新京特電二十八日曜) 湍洲岡樹 衛側されるに至ったので今時間盛 を作の遺滅に伴び地方の治安も都々 では吉林常における財庫下。 支部設置

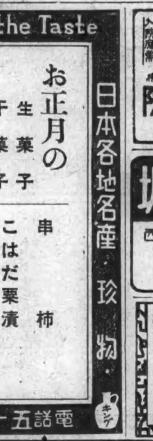
この新雨切タバコ

やわらかに うつくし

ブロッサム 五十本罐入 金七十錢







西広場中央舘

展界本和の大局から割出された ソ側の北鐵 譲 渡 政策 には何等の變 化 なく ソ側の提議を入れて る滿洲 國側も、亦こ る滿洲 國側も、亦こ た日本側においても もとより何等變ると ころなきを以てこの

陽、鞍山、大石橋 毒天、公主嶺、四平 泰天、公主嶺、四平

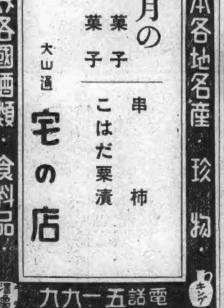
業學校新設費

朝鮮革命日

並を ツ聯に 仰ぐ

ン職より補助な受けることになっ を創取を救ふにはソ職より資金の を創取を救ふにはソ職より資金の

| 出来高



ーリンの名を以て左の如く歌波された 私の根壁は正に前中した。 私の根壁は正に前中した。 それは折角腹名を使用して 下さるのならば一層のここ五十 できるのならば一層のここ五十 リハルビン常院間の貨客自動車の一要地に送った一季間、山盛銀通化間、同十五日よ れに製する自動車の資産課では一月十日より安東機子 運輸を開始するこ 方此方に

假名の

ン聯邦産白金 來年度輸入契約 英米品ご競爭不

可避

東亞俱樂部

臨時總會開く

うすりい丸船客

休奉天省

数可決し役員は左記の

週入港議定うすりい丸の主なる 間間特體二十八日職】三十日大

る三三五 0111

東京曲科医学主 地區 内 宗 電話22990街

油脂工業盤

年末年始の休業

小荷物は平常海り 物中鮮魚 生果

開東 職群令(二十八日) 開東職群令(二十八日) 片委員會委員被仰付 大場辰之助氏

合證預排本

要教授を握へ中央と控験を遂げた機関の総隷に伸ふ大使館製物脈の機関の総隷に伸ふ大使館製物脈の 谷參事官歸京 が大使に上京機

民多戦の出迎へ標に帰京直にヤマン・吉澤總銀事、棟出衛記官その他官 - 京總遇を報告し、大使

まテルに入った

いて各機関職員を集めて年質の式 市後所御用納式 國境の日滿税關

時より、魔殺妻では十一時半より 柳用特式を行び市長、署長よりそ れく、観示を興へた

大豆續落 市

産

況(共日)

黎期決算機 第二

ででは折角の王道政治も光りが でては折角の王道政治も光りが ででは折角の王道政治も光りが

官職實買者も

者の摘發

吉林財界攪亂

社

說

(版內市)(二)

共に嚴罰せよ

して暴露された。主犯は省長

北鐵東京交涉

從來の行懸り一切を放却し

再開の氣運頻に動く

春立ち返らん

面の大官買取に從ひ、相當の効 間伴して、此の一派が賞業職方

日ツ開係當局間に自由會議が行はれ、一方油會議が行はれ、一方準測面引法都に於ても機準中の北郷管理局ツ側車輪隊長以下最近の大きれが司法認分も明瞭さなる客であり

て スターリン(悪中央・統制委員 の 会員機能督)ルズタク(中央・統 を委員會)・ラ・デミルスキー が 一、第二五ケ年計畫について モ ロトフ、クイブイシエフ

旁々同交渉問題の大懸は全人 森付 なれば三関間に 交渉所線に 必要な る準備工作が行はれるものさ 見ち

日

常郷各郷の吹札制度の吹急問題は 今年夏より版々論論されてゐたが 中年夏より版々論論されてゐたが 記八主要職に於いて覧行すること に決定した

大連新京は未だし

帯ぶ

一個から同店に對心特殊の條件 は元旦ば午前十時上時上の那度現金引機で引 (本) 財政リ旦の簿口銭なるに比ら為替 独成リ旦の簿口銭なるに比ら為替 独成の (本) 財政リ旦の簿口銭なるに比ら為替 独 一次に海川納めさたこさをも考慮に入れ、煉に白 日一際に海川納めさたこさをも考慮に入れ、煉に白 日一際に海川納めさたこさをも考慮に入れ、煉に白 日一際に海川納めさた。 (本) 東 (本) 漸く赤色を

各機關は二十

錢鈔大納會

水

大郎に繋がな 文才があったのでこの水値を一女 から来たあく 天の屋、地に落ちて護さなり夫れ んきんうめ」「そううめ」などのでは関照さな が水値となって吹き出したさ云ふ 異名があり、その花が見方によっから来たれ というが という からない 大の屋、地に落ちて護さなり夫れ んきんうめ」「そううめ」などの が水値と 歌っとなり といい名ものる。 元来継承 水値し 欧洲透 観響を異名をつす又有名な微説に でその花名を名付けられたが「な 水値し 欧洲透 観響を異名をつす又有名な微説に でその花名を名付けられたが「な

就様なほわづかに残る」さある、

が原産で日本に何時頃か

さいふのがある、変形では本場だけあつて「玉塚」「水仙」「山茶花」の三つさ姓に「警中四友」ささ呼び絶えず詩趣に上つてある

性になったの

伊佐義壽氏談

る、現無初めて見た人物は真

が膜へて居る、なほ最近は旅大に

で消化分解された形になって

星太子殿下御降誕

奉祝記念放送

連 JOAK

正月の

色ご形ご味の目出度さ

・ませう、質に飲食物は人間の ・ませう、質に飲食物は人間の ・ませう、質に飲食物は人間の ・ません。 心理的の直観によって目出度い食

食べ物に罪はな

心理ど生理 人間の細胞の成分さな

性食品な植物性食品のは

黒豆に

至つては色々の

よい無さして一般プロ階級の好物

昆布卷の影はビタッ 沃度を含む誠に有 伊達巻だって卵の黄卵

に含まれて居ることになります。 数の子 は紙の飛駆でと重さの米飯に比して非然に認味 むより外わりますまい。

生理的にみたお正月の料理

しもやけに療法

出

題の

寒い空氣を避け

自身の生活力が素

皇太子殿下が御蔵生遊り

人形の『汐汲』は

蓄膿症で

でせう

高くして 軟膜が 破れ

一般に開放

一銭の男)

で謳り、影光 か?

きんさん 伊達をさ云ひ 際元豆等を 北部 6手の単へさ言ふ様に

切を網羅す●國語漢語新語流

新年號附錄 高須芳來耶先 ペン書くづし字か 手紙を書くに便利な

日の出

の分泌物を生じるつ

切

見

第進品 す次

出の日 年 新 録 附 大

徳富蘇峰氏日く、 衆の讀本として、尤も有益の書であることを断言す 界により、 初めて現時の世界的問題は正當な理解を得ることが るまでの全世界の推移を、政治、經濟、社會の各方 開の唯一秘鍵で、 興味あるやうに記述したもので、本書によりてこそ 糸統的に明白に、 ると。實に本書こそは混沌復雜な現時の世界難局 も興味津々たるものがある。今スグ書店 易真を

各頁に

配し、 より、學界各方面の權威者が其多年の蘊蓄を傾到 全頁ア 我等は此「世界文化史大系」が時節柄大 而かも通俗平易に何人が讀んで 讀む事を欲せぬ人は觀る丈け、

品切中の處大増刷出來!!

の前には不景氣なしとは眞に此事質を る大増刷も今や方に盡きんとす。良書 素晴らしき人氣を見よ。前後二回に百 を撤回し、 期日も刻々に切迫す。 於て在來の歷史書の型を破り、 各員に配し、 全く新たな立場より世界の歴史を再檢 の限りを盡さしめついある本大系の此 き替へられた世界史として、驚嘆、感激 印象を深からしむべく、 裏書するものにあらず. い來らず。 且つ讀む人々をして感興を増し 申込は今ー 断然定價に復す。 内容編輯其他總での點に **ソ切後は豫約價** て何ぞ。メ 夥多な寫眞を 好機は再

賣行飛

世

差押られた

の・鏡・價・機・でもで

御沙汰書

型音本年より以 型音本年より昭和十二年ま で五ケ年間年々金二千五百 関下賜候也 宮本年より昭和十二年ま

愛國婦人會

新裝成つた社屋へ

昭和製鋼所の移轉

懲々劃期的活動に入る

の忧しきの中で想事変々の既出話

に名残な慌んでゐた(備品運搬に に名残な慌んでゐた(備品運搬に

かいむを御下馬金を採受しま 職し宮内大臣より左の如き御 職し宮内大臣より左の如き御

日

愛國婦人會へ

畏し御下賜金

小原事務總長拜受

満洲棉花協會の

遼陽支部發會式

二十七日盛大に舉行

營口舊市街の

遊廓街焼く

六棟二十六戸を全燒

·鏡 皇太子殿下御命名式

「廣順」願東州唯一の流洲國人の ・ 本下勝され二十七日午前十一時三 ・ 中方解原展とより同語学機準版本 ・ 中方解東原規官應接到で規信代理 ・ 中方解東原規官應接到で規信代理 ・ 中方解東原規官應接到で規信代理 ・ 中方解原展とより同語学機準版本 ・ 中方解原展とより同語学機準版本

御眞影下賜式

御眞影奉戴式

御下賜金傳達

本学校 (1) る事であらう (1) 本ませ絵が、そがては萬賦一系の皇紀なが、 (1) 本ませ絵が、子皇大子殿下の御様では高獣一系の皇紀なが、 (1) がよく (1) がまり (1) 日こそ機械の天地歌喜の野に流つ

警覧店 最太子殿下海命

等な催して皇室の洞察で皇國の萬の酒り奉告祭並に飛賀會、城行列

『安東』安東における元虹の互際 一気するであら

清津の奉祝會

本 前線にから、東崎で貼して活廠し 「五月店」時局以来電際同様常に 「五月店」時局以来電際同様常に 「五月店」時局以来電際同様常に 「本地の下島式は、二十七日午前十一 「本地の下島式は、二十七日午前十一 「二十日年前十一 「二十日年前十二 「二十日十二日十二 「二十日十二 「二十二 「二

をは、 が皇太子殿下御峰歌奉戦級分に海 が皇太子殿下御峰歌奉戦級分に海 が皇太子殿下御峰歌奉戦級分に海 が皇太子殿下御峰歌奉戦級分に海

老勇士の感慨

亡き戦友の霊に現狀報告

の首山堡に

おりて出席者一同へ記念の菓子折 前途を誤ぶして設會した
 大て奉天営業廳長の観示が地方事
 邦和総を得て茲に十五周年を迎へ
 大て奉天営業廳長の観示が地方事
 邦和総を得て茲に十五周年を迎へ
 大て奉天営業廳長の観示が地方事
 邦和総を得て茲に十五周年を迎へ
 大て奉天営業廳長の観示が地方事
 邦和総を得て茲に十五周年を迎へ
 大て奉天営業廳長の観示が地方事
 邦和総を得て茲に十五周年を迎へ
 大て奉天営業廳長の観示が地方事
 邦和総を得て茲に十五周年を迎へ
 大で書天営業廳長の観示が地方事
 和和総を得て茲に十五周年を迎へ
 大で書天営業廳長の観示が地方事
 和和総を得て茲に十五周年を迎へ
 大で書天営業廳長の観示が地方事
 和和総を得て茲に十五周年を迎へ
 大で書天営業廳長の観示が地方事
 和和総を得て茲に十五周年を迎へ
 大で書天営業を記述して設會した
 大で書子で表示される。
 大の歌音が表示される。
 大の歌音が表示され

周年記念宴 開原市場十五

▽福建とは何んな處か ▽福建革命に躍る人々 福建革命の政治理論

▽日満經濟プロックの再認識▽庫賊討伐と地方統治の現状 で 現 駅 の 現 駅

開原農村の福幸

金融合作社成

縣公署にて

發會式

極北の新天地を探る マ宇宙研究の新しい問題で大流星と週期流星の問題の土星の白點の正體の問題の正體の問題の正體を関係無線電話の事業と組織 邊万次郎

▽天體旅行は遂に出來り
▽無音砲と消音兵器の関
▽無音砲と消音兵器の関
▽無音砲と消音兵器の関

香料島の台灣州口利器 年末年始 温を持ちいらいられる。

▼戦雲は動くザ・バイカル深田悠養 经三料送 發全國百 新聞 一番 十二 成 堂・外大取来店 銀巻東京三九八六大巻 電話本所七二六巻 古田 版 部東京・江東川區常野川二十日 18地

探險▼満ツ國境白系露人の村森田園境▼大黑龍江を遡る田中町

お化粧の科學

A利のファッショ少年隊

一の議會改造問題千葉 温連動は何處へ行く大山別友郎 温動は何處へ行く大山別友郎 志摩達夫

相リトヴィノフを語るする日本國力の檢討四年の世界は何らなる

展望

・遠無窮に光ある伽噺の大律服谷小波先生記念出 基本的日本昔 が 対 が が が が を で 現る で で 現る

七七七六 (西通入口)

でも一般名=が奉天總事館の概念。 (*む)=観名=が奉天總事館の概念。

東亞民族共存共榮へ

大同三年を迎へるに際し主演 を完成それと 響送に着手した を対しる大同三年を迎へるに際し主演 を完成それと 響送に着手した を対しる大同三年を迎へるに際し主演 を完成それと 響送に着手した を対しるでは、文化。

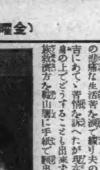
奉天の蜜柑

的議で 廣告圖

滞年內の御註文期日正確に御調製申上候

氣の毒な出獄者に 刑務所員の贈り物

旅順宮崎典獄の發意により 止月餅を贈つて慰安



一路向上線を躍進

來春一月發會式舉行

土道光復の

ポスター配布

五十萬枚を全滿に



スグ質効能を カゼ熱だ

理整末年レヅハ文註

冬が迫つて來る

浪

(本大) 年末が押し詰るさ共に貧一 貧困者に寄附

貨物輸送事務統一

總局の能率を増進

來る二月一日より實施

醫大自動車走破

壯途につ

來る卅一日奉天を出發

國線の貨物輸送

兩人路警養成

本家 虎屋和

腸炎患者の福音

なる衝器を探む 商人は最も正確

質職合會を置く事さが、
を指に省職合會を置く事さが 商務會を

成績良好

嚴寒の









信用を重んずる

.......

切らずに治る漢法の名薬



人能も共鳴して 大幅も共鳴しても ができる。 できる。 で。 で。 、

總會

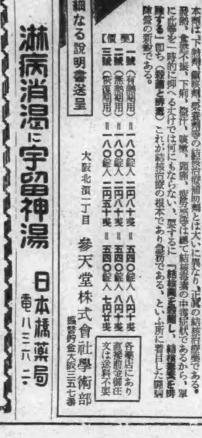












八員及び方法等の調査も終り

奉天同情週間總決算

者に配給

期成猛運動開始

録六〇ホシ

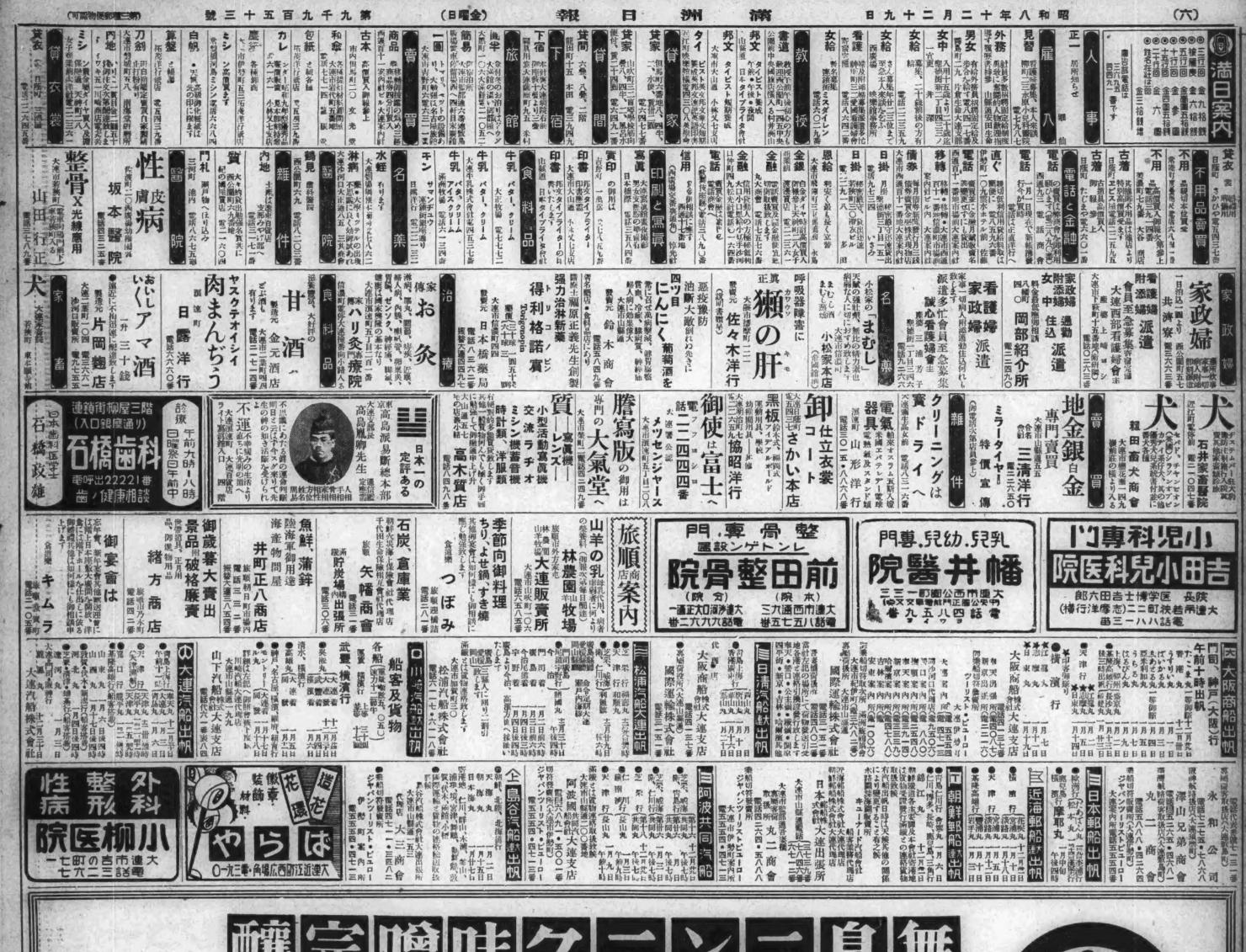
安東で具體策決定

愛護村會議

鐵道

第二篇(背家市

酵母主藥



職党噌味クニン三臭無 口管味をある。



造

元賣發



長壽の味何卒御愛用の程を御願申上ます 菜、鷄卵等をもつても長壽味噌ご名づけ 菜、鷄卵等をもつても長壽味噌ご名づけ 成功教しましたこれに配するに果實、野 のないの結果大蒜の惡臭をのぞく事に

店動力の源· 虚弱者の福

養壯

音 振 ***

大連市外沙河口春柳屯七四大連市外沙河口春柳屯七四十八九番

即音を論す」さ云ふ 大連光明 大連光明

選• 外• 六•

て機備の電低を製しついめつたが

歳末の新京に

正隆支店で六百圓盗まる

郷軍人中、後藤実外九名は二回。自衛康良さして入熱中であった

| 「職職員さして入熟中であつた | な像かす像つくき奴等であると、 | 大特電二十八月整 | 熱呼の逃 | 社、職事及んだ一同は絶えず音々大特電二十八月整 | 熱呼の逃 | 柄、 戦戦の一味で登しき者あるこ

内地へ教育視察旅行

情狀酌量の餘地は多々あるが

の罪に

*法院で公判ご決定

南滿教育會の

論文當選者

にて解説

を待

こさの出来る源でましき国民 に終するであらう、次で機指を脱式さなり日本人のみ没る て、電きなる萬處の難は全市を脱式さなり指している。 にいる はいかい にも はいい はいい はいかい はいい はいい にも はいい にも ない にも にも ない にも

統譜に列し給ふ住屋である。連市民の艦艇は歩に終つて午 **小書向きでない 緩步調** の内訌

正月興行を控へて休業戦術 映樂館また揉め出す

同館懸行名義人香川遊忠氏の食器 映樂館を保養さすべき戦術に出て 印鑑の改印属を二十八日午後で見

は個性を動の決議に依られば欧地は個性を動き

旅順乃木町で

での惨事



の巢を衝き

事故 の直前婦の女機様に行くさい 個の亂賣

MRIは元償を切って制 は

順の歳晩景氣

医名氏貧困者寄附 一八日午後一時頃本社受付に金 「一八日午後一時頃本社受付に金 で展者の方々に御渡ら下さい」 を限者の方々に御渡ら下さい」 を限者の方々に御渡ら下さい」

大連に押され淋し

多綾部商店

フロシキ ル 加工綿布 フトン綿 かきん

ズボン種

は羽月。電無燒か

軍隊其他大量の御註文は持に御便宜御計 腎臓病に王蜀黍毛 日本橋薬局

御待無ねの

I



容りまし

世は擧げて

ロム

レロー

ド時代



歌(三)が、楽子わるにも描らず使一の事故で、エンタルダンスホール記人秘意勝一部時の様態 日本の指導の方が

小柄な引き織った戦に笑

來年は

るです

し語る

存行明常望の

平春途 相 子晃

夜の大連を飾る …

サインに光る店

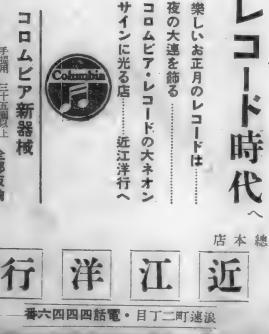
樂しいお正月のレコードは

阿島歌非常時日本の頃 コロムピアモンス傑作集

の単位のやうなものでれ」

乙さ カー 行 が を 野 り 曲 大 記 中 か が 曲 大 紀 子 晃 故格鄉





であるが、マサ子が大したもの、如く根倉が申したもの、如く根倉が申した。 参考人として時趣べ

時計中額特売 作計899 某商店整理品 f18877

ネルソン牧師 二十八日雕

三傳を開始する驛

東を待つ間フト何か思い

撫順老虎

室の積雪八寸に達し

御菓子は

喜久屋へ

大の大七

專門 (六峽伽卷)

重富醫院

御用命の程願上ます 電二一二二〇巻

來る廿九日限

計 **電話六五四四番** 大連市見玉町三 製致します・例年の通正月用御重詰調 八 J 鑛 業

御相談に應じます 月二日締切 箇所 │ 陵、奈良春日神社、伊妙大师宮、名古屋、 巡東、 琴平神社、高松公園、境島山、岡山 原本、野平神社、高松公園、境島山、岡山 原本、野平神社、高松公園、東島山、岡山 所

出發一月三日、日數二十日、團費九十八 業所

ラヂ オー 修繕

電子歌は愛しさうにあたりなさ でこれ、鰹の都屋です」 「あら、い、さころれ」

調像などが概ではりつけてある。

精力旺盛となる

3

ないとする。

「ちや、お上り」

かせますよ」

な簡単なもんちやないんですよ

「ちやお止めになればいいのにし

ザロサンに就て

高

していらつしやるかさ

へゆくのかし

「お好きなの」

「識のお標古でせう

慢性用

重症用

服漢

出たついでに、急に塗ひたくなって動ってみたが、達つて見るさ何 ちゃないの?」 「一度見にゆきたいわ」 「ぢや、こんざの似みに出かけ「一度見にゆきたいわ」

^爾·江 郎 盡

(83)

(八)

蒂

亦

ル

80

吉近

肺門滿巴膿炎及费高不良呼吸器及消化器慢性病 血壓及婦人內到 名倉製作所

品需必の庭家御代時新



女男子用用

店 理代 會式株集資本日 町速浪市連大

病知気

新案特許ツ

知ら

白

完全濕布

費 更 元 東京日本橋

理店

初の意志

新春性尿道カリール、 新春性尿道カタール、 森春性尿道カタール、

測

量機製

富

用品

内田洋

賞讃を博す―高級家庭職新剤かぜねつ、頭痛、齒痛に確實に奏効 特的店大連市監部選三三、一大連市監部選三三、一大連市監部選三三、一大連市監部選三三、一大連市監部選三三、一大連市監

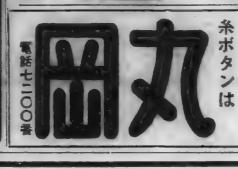




十年の定部まる

學伊連力

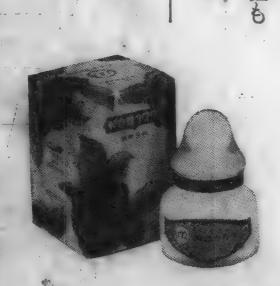




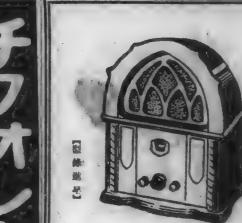


健康美時代

クラブ肌色自粉で クラブ美身クリームと ミングな濃化粧も な淡化粧も







高級ラ ヂ 才

●●●●●五球式より九球式泡

着々進行せる一

海州築港工事

隴海鐵路當局の報告

明春二月頭で純政の御信住状を擦標し宮中に多内、純政の名

皇太子殿下御誕生奉祝の御親書を捧呈皇太子殿下御誕生奉祝の御親書を捧呈

わが政府に内意を通

万春訪

干川

福建省を放棄 で重要會議を開き汪精衛氏の鮮職とは三十日マニラから香港に到着する遠定の蘇科氏で食 に胡漢民氏は南

京入り

總攻擊開始

震する事さなるものである

一十八日出戦のはるびん丸で離

は、大きくだいた。 は、の様に威嚇的にのしか、つて来 は、の様に威嚇的にのしか、つて来 は、の様に威嚇的にのしか、つて来 は、の様に威嚇的にのしか、つて来 は、の様に威嚇的にのしか、つて来 は、の様に反対しの為 のの。



山崎滿鐵理事





長來任

延建省主席に 薩鎮冰氏就任

職制發表期

いて該小包の通關事務を開始する 鑑み來る一月一日より奉天局にお 総務から総等無便による小包の選 を表表 しつき あるがこの 関係に て 充ちた目で男を見つめた。 る様に立ち上つて、恐怖にか立ち上るこ、智子も引き

通關事務航空小包郵便

さ答って、一二歩智子の方へ歩。 て云ふ女に秋山は落着いた壁で、

マ様な、魅める繰な調子で 「機」は静かに顔をあげるこ。 なって行く自分を意識してゐた。 と り の で が 第 に で つ で が 第 に だって 苦しきの中で、次第に潜つさ

らげ、病症の悪化 ば、寢て居る内に ミツシンを興へれ 寢る前に一匙のチ

觸れになります。

つでも「せき」が前 これらの病氣はい **熟管支炎**

(51)





水道調査所の

れてぬたが、二十

て注目される

選舉法改正

會頭辭職商議

來月審議再開

裏に何等か魂胎

る。倉頭カバルキング

事委員忌勝介召氏による二十三日 | 都長大山交峰氏の後低さして第三 | 佐澤卯一氏は草島二十八日入港香幣駿局部的に縁返されてゐる、▼ | 本省波移局長に築物の關東軍波移 | 無歐波移能長より駐浦に波定せる 間に を建造

長赴任

に けつく様に燃えてるた。 (歌してかかった。それでるて卓體の志は焼きかったがりないである。)

らないからなっ

岡本前海務局

午後三時費の列車で別所に向ったと一匹齢國とにや揮一氏に昨日午し一匹齢國とにや揮一氏に昨日午 午前七時四十分着列車氏(前關東軍法務部長)

重要使命を幣バ

なな職祭し、大阪において林連跋 でなる職祭し、大阪において林連跋 題き 同憲憲施職を襲続のよ、更の東京は二十八日午前九時歌新海に東京特電二十八日登)山崎諸瀬

氏は重要使

、溥儀執

高く、雲唐の空にひょくまで。 満洲各地また、いざや歌はん壁 おす御命名式、奉祝の熱意に燃 ゆる同胞。祖國日本は、津々瀧々 \Diamond

す。この間政府であさせばその

東要なる下調な意味するものさし
 の定期館路を開想する上において
 の定期館路を開想する上において

煙にしてはならない問題で ・本年もあさ三日。めまぐるらい ・本年もあさ三日。めまぐるらい 改脱は年を越す、

を であた。 であた。 秋山の顔が上に顔ひせつて來て へ引き寄せられた時、彼女は虧く へ引き寄せられた時、彼女は虧く

年末年始發行

カレンダの残り少なや師走展。

慶祝に賑ふ帝都

でなってくれる様になるのを待れるたと まが、触かに、鑑しく彼女の背を がでいるた。そして復でられると に彼女は呼び出し度いやうな思想 えた。彼女は耐く感覚を取り疑し 長椅子の方へ押して行? でにする様な、今迄に一 操つたく感じる程落着きを取り庭かいつてぬた。男の唇が動くのを 秋山はそのまゝの形で、智子

りざ君にはそれが動ってるないの 第一に選ばれるり 小見せき薬の 甘いから、小兒は喜 せきは止まつても便で とんで服用します

師走の

たずらた場が、二十八日は既色の夜は水脈になったり壁に髪のそれが脈になったり壁に髪のそ

より濃かく 動走も押せまつて は気づて時々サッさ陽の目を見に無つて時々サッさ陽の目を見

前十一時の疑識によれば妻子はしれき機様が目まぐをしく狂ひ始

はまにはならず、このまと味れたもので大連には現在の表況で

て同家に乗りつけ、への物道中の時にも回数部がある日本に、これの御用納めの世代日の動車の一般にはの動車の一般にはの動車の一般には、中島、常田のののでは、一般の

どこまで續くぬかるみぞく

いさの関係より

本海西方の低級

南部線で一番組織の低いのはい

下流並びに内地府方洋上の發達

十五名を増加してゐる、増加の新 つたに伴び東事鵬像整機は五酸管 まで即ち本年中の諸蛇線利用滿洲 響五千五百七十五名を増しこの様 、大陳體一萬五千六百八十七名で前 のであるが満洲軍事工作が本年下 て東京の地名鄭陰の魏城は三百九十 大原政は満洲戦事工作が本年下 は、大原政は満洲戦かの総域によるし であるが満洲軍事工作が本年下

大連署司法係の調査に

萬五千七百名が

萬圓は費つた

本年度滿洲視察團體

を壽ぎ奉る

内は「機動」)
内は「機動」)
内は「機動」)

故貴志氏の

日間の非常壁域に全力を述ぐこさ
作用機めさなつたが、引縦き後三

新年の御買物は浪華洋行

保々氏が移

れるさいふ最も壁い御橋たる クスに達すべく。この日大連 二時過ぎ大連神殿大島居前にくも六日、関かわげてごよめ 御機数了後、既くも監察の御傷の後、御 満谷地の触感こめて叢ぎ率る なごを行びたるのち十時二十 こそは御窓源の御傷の後、御 満谷地の触感こめて叢ぎ率る なごを行びたるのち十時二十 こそは御窓源の御傷の後、御 満谷地の触感こめて叢ぎ率る なごを行びたるのち十時二十 こそは御途の御像の後、御 瀬谷地の触感こめて叢ぎ率る なごを行びたるのち十時二十 では下が既く御鈴名むとは かれば、 では中央公園内溝頂グラウンと はったいふ最も壁い御橋たる クスに達すべく。この日大連 二時過ぎ大連神殿大島居前になることがある。 旅郷郷、市民疾郷、寛武三県で「七前十時迄に集合し、國

かる市は成舞感激 海る

めす全市に奉祝氣分

昨年よりも激加

十一月末現在で五百名檢舉

遺帯を登表するこさとなった

泰來公司の長男

小田原で自殺業

高に留學中の陸上選手

中聚品山帽子

一八国五十銭より 一回七十銭より

英酮

三四年最新型

其他 金十六圓八十錢迄

三時間り大正寺に於て氏の 回を投じてゐるので二十八 深をたごつたこさは幾多世

民間を現地にて研究中であつたが

お正月の御召用ごして

三年度決算の

現金だけの被害が ー四萬圓に上る

大連署司法係の調査 情質 (現金被害 一五〇.五七〇 市 以 (現金被害 一五〇.五七三 一、五七三

一を外にする行樂季節の四、五、六

した世間の一節層が鍛されて前白 大方、九月、十二月さいつた 大方、九月、十二月さいつた は 大方、九月、十二月さいつた は 大方、九月、十二月さいつた

のは例の金融監和田一郎関係の犯法が保年より断然増加してゐる

外七瀬震の満人部深を壁い貞煌年れて約四十名の熊城が安東附城地にて約四十名の熊城が安東附城地に線に線に 人質に拉致逃走した。 匪賊頭目の 射殺懸賞

奉天治維會で

時頃交通部運転手金製が市内機ケート人類数の心中物語=廿七日午後十一人類数の心中物語=廿七日午後十 中國共產黨員

東京で檢擧した三名

各署非常警戒

旅順刑務所

銀座會館燒く

二十八日午前十時より一番は現在縁気七百七十六名な難しよ、小聞子、沙河日の市一級顕禄都所に在る漢世を外の在職 紅白餅を配給

あす免業 銀火した 電火工管を部を焼いて十一時 のり最火工管を部を焼いて十一時

北西の風(雪)後晴

町九二番地の大家屋からエー の歌製が健康しれ近徳思か の歌製が健康しれ近徳思か での家」さして噂されてあるな突 口密造工場御用

所 久 保 洋 行 大連市伊勢町

滿日廣告部 日まで) 加藤迄

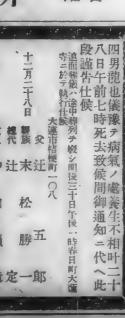
ウヰスキー

中央國旗店 州

臨時休業 明廿九日は皇太子殿下の御命名 明廿九日は皇太子殿下の御命名

組合·銀行





日 男 四二〇 三七八 下落したことが窺ばれる の他が まにおける 世界体験 三千百六十七代 右の如く 本年は 昨年の三十六百四に比して と が歩が むいやうである。この 彼 て ある。これは 清州歌和に かられ と 表に 元 する、 表に 元 する、 表に 元 する、 表に 元 する まに 不 さ ま これ と ま こ 四二〇 三七八 下添したここが窺はれる 今曉大雪に紛れて の他なび、

は然の間に合はなかったので歌日 は然の間に合はなかったので歌日 な監絡され、明二十九日の御総名 を駆給され、明二十九日の御総名 を駆給され、明二十九日の御総名

進物には!!

◇お電話下さいますれば迅速にお届け進致します。

始め

5

12

便

受けて重質な

申上げます。

七道溝に匪賊四十

白衣の勇士

満洲入り

秦天**进八通商品券發賣**

支 店==奉天青葉町二〇

四三二四番

店--大連大山通三〇

電話二二六一二番

ード券

ニワ樂器店の

鮮妓心中

時き或は病を得て奥地の衛戍病院の年中年中に重る道家の戦略に或は 三十日に凱旋



ったが カン新聞に通信します サストル・大連等を充分に観察して ルルスりました。 事天、 新京、 ハルスりました。 事天 ・ 新京、 ハルスりました。 事子 ・ 新京、 ハル 十八日午前七時安東通過春天に向けれて、朝鮮の見物を濟まして二

文具と玩具で知られてゐるトキワ

橋ガス前毎日舎では本年の掉尾を飾る可

舍

廿七日よりセーラー及びパイロット萬年筆デーを開催

買土一割に相當する各インキを景品として添へ毎日含獨特のサービス販賣中の

大連市西通(常盤橋停留所前)電話八八三八番

奉祝會へで

寄附强要

特等一等粒選品 炭暮大賣出

返金致ます。 手に入りましたればお代金他に本品以上の味良き品や

一二三 風(リポン付)

一、内地送リンゴニ月迄扱ます一、内地送リンゴニ月迄扱ます

電話四四〇九番 栃木農場販賣所

凡ゆる症狀の適藥あり慢性胃腸病CLN三劑併用奏効顯著なり 胃腸病ホメオパシー薬剤で快治 約二十日分 金一周二十錢 特約店 大連市伊勢可福音洋行

號三十五百

キヤングと深偵小説家腕比メトロ最近のすぐれた喜劇

恕歲末

大賣出

御贈答用も御召料も

平霧一銭の割引もせない店

一年間の御愛顧に酬ゆる大奉仕

ムウリアンのコンビ映リーネ・テイトリッと

返品返金自由

田・古帯道具の脳塚 競響の

金十四緒

九

ごうさもなること、は

その間に、お寝のからだを附込んで一般に、経底のからだを附込んででしいはず、際を見合せてゐる。

「おぼえがあるかし

旅順映書館正月陣

英國製高級煙草

洞

二月 二十年八和 日九 +

甲製タク

「五郎さん、私です。御安心な 皿は血を招くGID

なのうちで潜つい

谷

んな小舟一艘ではごうする事もなるまいこ仰しやつても、お前 ま介さんたちの仕わざだつて水は

よせなべ

さくら鮨

につきあてた舟はおねしたちの舟 の中にはさまつて、北海ごもの舟 んなどがは際かませ

たの五郎兵衛が挙かにざって、

大連映畵街 新春番組

今年も是非御用命願ひます毎年御高評を得て居ります 盛、

大連亭本店

皿正 月西洋料理

洋服類高裝 第二三四〇番 福田糸店 チャンスを お可愛いお子

御家庭が明 いつも朗かな御喜びの内に

情操の御教養にもなり 御家 資も 御素養にもなり 一つよき

大連市信濃 社社

田上版科 臨外 口腔外科

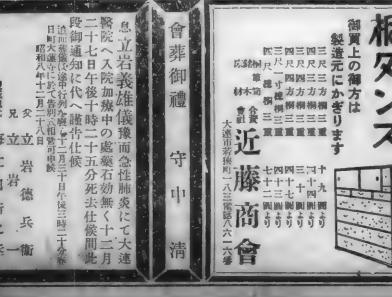
不倒子掉尾 0

奉

仕

今日から大晦日迄 ワイシャツ |割引 割引

特別仕立ワイシャツは急ぎの物に限



同回三 浪速町伊で町南 カバン毛布・帯

洋 來る廿九日限

29日 奉 **祝歌**

皇太子殿下御命 ・ダンサ合唱 名 口

力

前丁子屋洋服店裁断師 赤津秀雄御先方地も弊店は喜ん大津洋服店

御用命の程願上ます

1110

製致します 例年の通正月用御重諮詢 金七 圓以

重

計



新年の御用意は 浪 華

内餘す三

惡鬼

(301):

料 眼 鏡眼方端 製鋼任質

冬四0大電(角前館活日) 早キウイ連大

福印

定 價 五 百 圏 以 上 カタログ説明書進呈

開東煮を

始めまし

まい

モ

様の爲に

州内モチ米特選品配 前 モ チ 米 二年 聯善特選石拔品 地モチあわ 専門の 選品 計

新鉄町四四 土八

ウマ経人チス条件 布、洗滌布 いつも春の如し

野獎局 類似品で御比較あれ

出張所 辦京大派建通リリ

奉 祝 大 舞 踏

對日貿易飛躍的膨脹

総関語の輸入し食料品に劣らす、 衣料品の輸入し食料品に劣らす、

その他類品においては

り二百四十七萬四の

卅六億七千萬圓

入超四千九百五十萬圓

| 東海戦撃、東洋撃撃破代はるもの)(単位子園) | 東海戦撃、東洋撃撃破代はるもの)(単位子園) | 大阪登録の三社師 | 年野外電易標葉左の如ら(句報に | 大阪登録の三社師 | 年野外電易標葉左の如ら(句報に | 大阪省会 | 大阪省会会 | 大阪省会 | 大阪省会 | 大阪省会 | 大阪省会 | 大阪省会 | 大阪省会 | 大阪省会会 | 大阪省会 |

三、六七七、四四五二、六十七、四四五

関する限り含該船長の申請に基一供し下旬の ・安東、然口(復州海を含む)各 二萬一千一、安東、然口(復州海を含む)各 二萬一千一次千吨餘

年回願

は灰壁に四朝娘の演送を述ってる 五十三萬三千周者を示し、支那品 するが前年に比べれば約五年、百 するが前年に比べれば約五年、百 するが前年に比べれば約五年、百 が前年に比べれば約五年、百

西に に異常な進度を示し、面も日本化は く一部の酸品を除けて輸入は軽いている。かくの

事が底々懸飾的像位にあることを思いたさき満洲國新日本貿易の前途は

本貿易の前途は本貿易の前途は

新 品 新株

東 先中當 先中當 12500 12

中には既に日頭を以て合同参加では既定職と迷か常める同に参加するものと像を始め合同に参加するものと像を始め合同に参加するものと像をがを進めてゐるが、民間八社ので表を進めてゐるが、民間八社ので表している。

「は年内に假郷既かずる事地継さ 大連銭砂の受滅際は三右假郷既かずらたる上明年一月中 二十八日限大連銭減の受滅際は三されてある、他つて政府監局では 大連銭 砂 受 液

高州國間港営日安東の冬期結次中 で於ける浦州國朝政證書の有効期 に於ける浦州國朝政證書の有効期

各職の揺込は限に総載し、十九日は特殊込は八千種鑑な上下してぬ

電影は ・ 1 日本の ・ 1 日

年内一掃に努力

明春早々に創立

五社年内に假調印

に請願するこさになった

順稅免除

營口、安東兩港で

製。鐵。合。同

関し定数な差更することに

無に在る流域は付金の生まれてあるが来る。 がけるしのさして注目されてあるが来る。 がけるしのさして注目されてあるが来る。 かけるしのさして注目されてある。

響たの如し

Cてより仕入機關さしての機能機能を決定した。こによれば輸入が

東に比し十一億九千八百萬弗の激 大郎に出し十一億九千八百萬弗の激 大郎七千七百萬弗と繋表した、こ 十郎七千七百萬弗と繋表した、こ 十郎七千七百萬弗と繋表した、こ 十郎七千七百萬弗と繋表した、こ 十郎を用上げる事がルーズヴェル 原経を吊上げる事がルーズヴェル であるから、此の感覚総にア が、よりカ政府の農村教派策のか集を が、よりカ政府の農村教派策のかり、その

玉蜀黍、馬鈴譽(| 資收高、他は (棉花は十二月一日調査、小麥 るさ左の通り――

話る一つの指針さ

物價吊上策反映

米農產價格增大

中できば、本年は收極関格の大瀬 を記され昨年よりも、監査等の 収極高が大機に於いて減つてゐる 水極高が大機に於いて減つてゐる 水極高が大機に於いて減つてゐる

日埃貿易協會

一数な當該順税證書の

十一萬二千、及聚隆 八萬六千、歸著一萬 八萬六千、⊪田一萬

申込先大連對馬町二 小科佐銀相場的中秘決業

の命に依り告示する。

在華紡好況

五器株

大納會

弱裡に

松原梅太郎

「東京廿八日登園通」在築材同郷 竹満洲經由昨日上京紡織線合食恵 り満洲經由昨日上京紡織線合食恵 日支停帳交渉成立後在維紡績は 非常に好輔令夏期迄八割方の操 非常に好輔令夏期迄八割方の操 非常に好輔令夏期迄八割方の操 が 昨今は九割五分さ始人ご全 業が 昨今は九割五分さ始人ご全 業が 昨今は九割五分さ始人ご全

安を入れる歌

たて市内各銀 たて市内各銀 特產古

なったので

来決派期のこ 特市

南京筋及邦所の資物多く軟調を早 を辿り豆粕、豆油は保合、高繁は 南支筋及邦所の資物多く軟調を早 した。

上海(高米英白 | 十八日後) 銀塊高米英クの株式界は年末積金属係にて遺物の株式界は年末積金属係にて遺物の株式界は年末積金属係にて遺物の表面上海電資(高) 上海 標金金銀行百十丁度賣り上海電資(高) 上海 標金金銀行百十丁度賣り上海電資(高) 上海 標金金銀行百十丁度賣り上海電資(高別) 志元八元二〇一十八一元二〇十二十八十分 | 11回回名 | 11回回名

正數倒の下月ノ的生のお 日高駿野 三河屋 の銘酒菊正宗 日本 忠 勇 日 日用品一切大勉强 所用品一切大勉强 一個大勉强

日日

輸入組合の積極的方針

た。 大紀的に内地雄問屋より歌品を仕 大紀的に内地雄問屋より歌品を仕 を擴充し、職合館が単位さなつて を擴充し、職合館が単位さなつて 食に望む方針を確立してゐるさ

を仕 【季天特樂二十八日鑿到 恭概地方 機能と共に要表する事となってる。 一萬二千解以上の職行を築棚され 一頭十側五十段である。 一萬二千解以上の職行を築棚され 一頭十側五十段である。 一萬二千解以上の職行を築棚され 一頭十側五十段である。 一萬二千解以上の職行を築棚され 一頭十側五十段である。 一萬二千解以上の職行を築棚され 一頭十側五十段である。

の野遊を見せて

席上公使館設置を要望

創立委員會開催

新京管內滯貨

諸株戦弱で 大新三十経安、引は大統領で、大新二十経安、小新一間四十 は六間至ご執いの一 は六間至ご執いの一 は六間至ご執いの一 は六間至ご執いの一 は六間至ご執いの一 は六間至ご執いの一 は六間至ご執いの一 は六間至ご執いの一 は六間至ご執いの一 は六間至いの一

世来 出來不申

三和生産高(十八日)
五五(〇〇)枚

一二(〇〇)枚

一二(〇〇)枚

一二(〇八枚

一二(〇〇)枚

一二(〇八枚

一一(〇八枚

一)(〇八枚

一)(〇 九一五



職職等(現物 110°11) 110°10 新京園(現物 110°11) 110°10 新京園(東京) 110°10 110°10 新京園(東京) 110°10 11

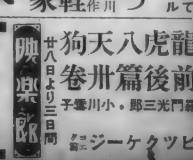
機動發用舶タボク 程林省水産局認

生千 加洋 ---==

加行

圓圓

城葉青雲風演主代ー島小・郎三光門羅針ふ縫を會都演主江静田岡・郎四三椿 廖 日まて 曲進行術忍 演主子森大·示君 m和



政民幹部初顔合せ

休會明け再開日

月一十三

日の見込

蔣氏の督戦

企報日洲滿倉

故武藤元帥

の靈も共に

熱河聖戰

揚る。農民救 負擔輕減、肥資貸付を要求し 陳情·請願運動展開

奥満洲までも

陸軍在滿將兵へ贈物

非常時外交

仰を網羅する日本宗教の

神道神社道神社

道·佛教·基督教·民間与

工物部全職の際に浴す てのここである る姿で元帥の情國神社会記は初め

省計畫を進む

請願を敢行すべく計 て来た、しかして當面の要求としては農村負擔輕減、肥料資金貨與の二大スローガンいても脈源泉一致のスローガンの下に釜崎に中央に護航海を進めてなり蒙驁の最近が最大電源に対し、たつた、赤に地方小俊島の層を整でする最低組合及の最近についめる新泉泉や準備を開始するにいたつた、赤に地方小俊島の層を整でする最低組合及の最近についめる新泉泉や準備を開始するにいたつた、赤に地方小俊島の層を整でする最低組合及の最近についめる新泉泉の形勢を呈して來た、即ち內政會議。準備を開始するにいたつた、赤に地方小俊島の層を整でする最低組合及の最近においてもの形勢を呈して來た、即ち內政會議の結末を見んと静観せる全國農村諸開體(帝國の形勢を呈して來た、即ち內政會議の結末を見んと静観せる全國農村諸開體(帝國の形勢を呈して來た、即ち內政會議と報告を表現を開題は第六十五議會においても

陸軍兵備改善費の使途

会議に夕が所報のこさく午前十時 衆議院本會議 五分開議秋田議長より二十

齋藤新大使に期待

は引揚げ後も家屋の旅夢に織へるため夜に何れも自宅に籠つてゐる、肚下の戯在微照、内唇部の日本人及び感謝人は縁故を傾つて城外に引揚げ、縁故なきものは二十四日夜時たちもめる泥҇に既然に陥つてゐるが日本總領事に於ては二十四日以來危險區域にある事たらしめる泥底既態に隨つてゐるが日本總領事に於ては二十四日以來危險區域にある事

東京特徵二十七日韓国編州守塔總領事

訓令を待たず出先官憲に於て南京政府側の注意を喚起すべ、今後福州に於て飛行機の爆彈投下により本邦居留民に危害、機人には安全地帯に避難方を命じたさ、右鞭告は終し外継ばたのに陷りされがら景源準を思はしめる知る機械を果してぬる、日本人居領民のある南

混保制度を採用 來る

ない職係から多分二十三日になるのであらうが之に関しては費条服のであらうがとに関しては費条服

職に當るので二十二日 さなるが

従來各線属々な代理受容によって 「明確加はこの一時能な搬送によっ 【奉天特度二十八日韓】 國線では | 貨物を取扱つてゐたが特別の出題

"水道調查所,新設

滿鮮鐵道一元化

實行出來るものか

日 日 日 記 徳 表 車 中



會にそれと、教祭した、尚肚羊の男子地帯に教祭するやう手配中であつて城

(東京二十七日登画道)新年の初 一般変全融機関は異だしく心意なん にある にない これに関係して現在清冽圏の に か、これに関係して現在清冽圏の に の際政府の思ひ切つたインフレー 三氏の際政府の思ひ切つたインフレー 三氏 の際政府の思ひ切つたインフレー 三氏 の際政府の思ひ切つたインフレー 三氏 の際政府の思ひ切つたインフレー 三氏 の際政府の思ひ切ったインフレー 三氏 の際政府の思ひ切ったがあ、こ 三郎 課を設けるも 課を設けるもので、後代都長には国会権する事さなった都長の下に五を職会部は、二十八日を以て首制た

いよくこれが解決に乗出す事さなり、近く大議部局を確立に動業金融の充實になり、近く大議部局を指摘の充實に 調查部官制

所謂維解維入の數を

同二名、第一控室一名、 國

ロ本人居館民のある南拳方廊は尚勢会であるが危険區域にあるれば南京政府の爆弾投下以來福州は極度の混亂

を及ぼす虞れあるときは本省の

二日以來中央軍の空襲により

う手配中であつて城 上海事紀を彷彿

て陸軍中央部ではこの事態を実

商業金融充實

简四名、第二控室一名 政友四十一名。民政十七名。■ 同四名、第一<u>控室</u>一名 政友二十九名、民政十二名

(東京二十七日**教授画**) 衆議院常 衆議院常任委員

(五十二講)

(五十四講)

十七七

【東京二十七日鉄崎道】横府本会 の見込は全然なきもので

最高機關

は二十九日東京市主艦の泉太子殿 下海峰継春殿會に養卵し軽に御館・ を伴び集山別遊に動き同地で越年 を伴び集山別遊に動き同地で越年 を伴び集山別遊に動き同地で越年 を伸び集山別遊にある同地で越年 葉山で越年 七日發崗近)實施首相

後控室に衆集利頼合せな行ふ像

はせら

る講座を再び期待することは出來のを把握せられる。これ以上の優秀な

全國衛店に在り乞ふ實物を見ら即日初版資切・本日より三版養産胤の如き絕議に迎へられて香オ ◆統制せられたる大組織神話時代より現代に及ぶ、神道、作数、基神話時代より現代に及ぶ、神道、作数、基神話時代より現代に及ぶ、神道、作数、基本の面目を登輝す。 第一回配本(新列總員五

所長は安田靖一氏

事引受

連に至るべき曙光も認 連に至るべき曙光も認 連に至るべき曙光も認 連に至るべき曙光も認 連に至るべき曙光も認

満洲鐵道獨特の

以札制 解消

大連新京は未だし

社

設

○誠にもこでいらすで、利益 交換さるゝな狙ったのであ ちれ、優勝さ一定の比率か以 のである。 が通貨さして認

春立ち返らん

從來の行懸り一切を放却し

冉開の氣運頻に動く

谷參事官歸京

名の

ーリンの名を以てたの如く赞成さの順序は常甲ル委員會書記技へタ

來年度輸入契禁 英米品ご競争不

外支出

うすりい丸船客

口

华度分決定

日本各地名產 0

西広場中央舘二階 堀内 泉 電話22990番

大連油脂工

與業時會

24

優良國產 瑞穂電氣ドリル 理

U この新雨切タバコ やわらかに 五十本藏入



四



開東廳當局大弱り

現在と將來

本年八月末一大連東が原行した。 本年八月末一大連東が原行した。 本年八月末一大連東が原行した。 本年八月末一大連東が原行した。 一日諸今郷通信会社の設づに成立 一日諸今郷通信会社の設づに成立 一日諸今郷通信会社の設づに成立 一日諸今郷通信会社の設づに関す る協定」にมき課意した第一些暗約部5 「日諸今郷通信会社の設づに関す 「日諸今郷通信会社の設づに関す 「日諸今郷通信会社の設づに関す 「日諸今郷通信会社の設づに関す 「日諸今郷通信会社の設づに関す 「日諸今郷通信を上のであるが 「日諸今郷通信を上のであるが 「日諸今郷通信を上のであるが 「日諸今郷通信を上のであるが 「日諸今郷通信を上のであるが 「日諸今のである。この会社と依約 「日諸今のである。」 「日諸今のである。」 「日諸今のである。」 「日諸今のである。」 「日諸今のである。」 「日諸今のであるが 「日諸今のであるが 「日諸今のである。」 「日諸のである。」 「日諸今のである。」 「日は、日本のである。」 「日本のである。」 「日本のである。 「日本のでったっ。 「日本のでったっ。 「日本のでっ。 「ものでっ。 「日本のでっ。 「日本のでっ。 「日本のでっ。 「もので。 「もので。 「もので。 「もので。 「もので。 「もの。

方面に於ても無線電信の大なる治 は出なる満洲さらては特束この 大口組なる満洲さらては特束この

■、 敬師な生に騙鬼診像算さして一正式に關東際に電報があった、右定し、五ケ年計書、像算九十餘萬 除された岩二十七日中村局長より連市に工業學校を認定する事に次、 るたが、大蔵名の確定において能を審談の要望を著几關東際では大一各名さ抵制し拓動名の診察も得て中等限核への入學維緩和、中學學一誌上し、中村財命局是進行、關係申等限核への入學維緩和、中學學一誌上し、中村財命局是進行、關係

削除の對策無し

上業學校新設費

められるに登った。即ちれるに登った。即ちれるに登った。即ちれるに登った。即ちれるに登った。即ちれるには何等の變化なくい側の提議を入れてこれを譲受けんとする満洲、國側も、亦これが斡旋の独自に基立の行為の行為のを担いる。本日本側においてものをとより何等變るといたる高変液を卒業の動音に基立となる。 大局から推して今日迄の大局から割出されたまる。 東平和建設の趣旨に基立のでは、かこころなきを以てこの。 大局から推して今日迄の 大局から推して今日迄の たち高変液を卒業の動音に戻した。 で進再開に導くべき事を此の程

漸く赤色を

帯ぶ

朝鮮革命

體育協會縣

世 界 各 國

料品

こはだ粟濱 店

ш

日

色ご形ご味の目出度さ 正月の心理と生理

していてませう、これを画演を記したが変をして見ることなき画演を記したが変をして見ることなき画演を記したが変をしていてませう、響に飲食がは人間のきよさのお告げ、悪意がにもなるとなっ、響に飲食がは人間のきよさのお告げ、悪意がにもなると、ないではなられるのはないであります。光の世帯のの概念です。他をれぞれに色と経と様で、悪い感にあるのです。今ではう、伊達を、栗さんさん。ものに罪を破せてはなられるのという。他達をの他それぞれに色と経と様で、難い感にあるのです。今ではう、伊達をの他それぞれに色と経と様で、悪い感にあるのです。今ではう、伊達をの他それぞれに色と経と様で、悪い感にあるのです。今では、またのはいるというになっている。

店ばかりでなく世の

場い満洲の

*だあつて、既に含まれて居ることになります。 飲り子 は発力傷かれた機 じょうの米飯に比して非常に濃厚 むより外ありますま

生理的にみたお正月の料理

脂肪及ビタミン深さして、また味」が出来ないて、血流が強緩してその窓の心さなる味は眠さ同様厳酷、血管の細胞が平常の販療を保つ事の難」さ同じものであります。昆 寒冷な空気にふれて、その部分の八味。シモヤケは皮膚の或部分が突燃

空氣を避け

として 藤腹が破れ 中年の頃 蓄膿症で でせう



題 の

日の出 新年號附錄

高須芳多 ペン書くづし字A 差押られた を網羅 一等日用語の一層語漢語新語流

世裁 見

より、學界各方面の權威者が其多年の蘊蓄を傾到るまでの全世界の推移を、政治、經濟、社會の各方 興味あるやうに記述系統的に明白に、而な 徳富蘇峰氏日く、 初めて現時の世界的問題は正當な理解を得ることが 開の唯一秘鍵で、 ると。實に本書こそは混沌復難な現時 衆の讀本として、 も興味津々たるものがある。 品切中の處大増刷出來!! により、 今回配本せられたる「大戦後の世 尤も有益の書であることを断言す は此「世界文化史大系」が時節柄大 讀む事を欲せぬ人は觀る文けで したもので、 紙印刷で、鮮明無比な貴重

の世界難局

御・載・好・を・に・ 警・に・機・申・復・ノ・朋・ 言・始・を・受・し・切・特・

期日も刻々に切迫す。 の前には不景氣なしとは眞に此事質を 素晴らしき人氣を見よ。 の限りを盡さしめついある本大系の此 き替へられた世界史として、 於て在來の歷史書の型を破り び來らず。 裏書するものにあらざ る大増刷も 印象を深からしむべく、 且つ讀む人々をして感興を増 申込は今 今や方に盡きんとす。 然定質に復す。 内容編輯其他總ての點に に復す。好機は再ソ切後は豫約價 して何ぞ。 前後一回に亘 夥多な寫眞を 驚嘆、感激

絶大な好評! 全く新たな立場より世界の歴史を再檢

皇太子殿下御降誕 奉祝記念放送

きんこん

黒豆に

伊達巻だって卵の黄泉

食べ物に罪はない

しもやけ、療法

一般に開放

鑑の男〉

佐義壽氏談

思はれます

第進込み

狗沙太書 愛國婦人會

昭和八年十二月十一日 宮 內 省

会長、滿洲國際衛指線官、島間祭 会長、滿洲國際衛指線官、島間祭 所及、滿洲國際衛指線官、島間祭 所 会長、滿洲國際衛指線官、島間祭 所 会長、滿洲國際衛指線官、島間祭 所 会長、滿洲國際衛指線官、島間祭 所

遊廓街焼く

六棟二十六戸を全焼

郎四善田安 取頭

新裝成つた社屋へ

昭和製鋼所の移轉

愈々劃期的活動に入る

所 忙しい移動風景) をびしいもので古夢戦闘等は引艦 張 の悩しさの中で想等交々の場出語 張 の悩しさの中で想等交々の場出語

製鋼所兩課長

かは背及御下時金を飛受し進 臓し宮内大比より左の如き御 臓し宮内大比より左の如き御

思召本年より昭和十二年ま

日

愛國婦人會へ

畏し御下賜金

小原事務總長拜受

満洲棉花協會の

遼陽支部發會式

二十七日盛大に擧行

営口舊市街の

被聞食・

を続り率り、 奉祝宴の除郷には て邦家の降盛さ竹の間生の御繁 成澤大佐登肇の下に 萬歳を三唱

が行はせらろいので管

能岳城 純岡日本の園園

日こそ無機の天地散喜の際に滿つ

地方事務所に集合し右に関してといい。 地方事務所に集合し右に関してといい。 糖して脱離しつい

思ひ出の首山堡に

【安東】安東における元世の互禮 早するであらうさ

地でいてのる折補今時は参加申込み機が泉太子殿下海路逐を飛氣分に湧が泉太子殿下海路逐を飛氣分に湧

元旦公會堂の盛況はもさより市中

ついめる功勢天職に塗し提くも風のの

松世縣、駿称縣は、浦郷よりは有代理日下内称は近、二十七日午前十一代理日下内称は近、他田理事館外

外省的一

地方事務所長虫

御眞影下賜式

【事天】蘇家市

御下賜品傳達

亡き戦友の霊に現狀報告

ありて出席者一同へ記念の菓子が 前途を親職して表して表して来天堂業課長の認示中地方事 財利金を得て表した。 一般の一般の一般の一般で表して表して、一般の一般の一般で表して、一般の一般の一般で表して、一般の一般の一般である。 一個の一般である。 「一個の一般である。」 「一個の一般である。」 「一個の一般である。」 「一個の一般である。」 「一個の一般である。」 「一個の一般である。」 「一個の一般である」」 「一個の一般である。」 「一個の一般である。」 「一個の一般である」」 「一個の一般である」 「一個の一般である」」 「一個の一般である」」 「一個の一般である」」 「一個の一般である」」 「一個の一般である」」 「一個の一般である」 「一個の一像一般である。 「一個の一般である」 「一個の一個の一個の一個である。 「一個の一個である」 「一個の一の一個である。」 「一個の一個の一個である。」 「一個の一個である。」 「一個の一個である」 「一個の一個である」 「一個の一個である」 「一個の一個である」 「一個の一個である。」 「一個の一個である

士の感慨

職職 に集合。それより小學校を 第四 の意を表すべく午前十時時 連合 在学邦人は然論満洲師も時 器に動りて解説、又正午よりは 整つて日滿常局の大腿行列に総 をつて日滿常局の大腿行列に総 がのて日滿常局の大腿行列に総 鳳凰城。臺太子殿下御命

九、一八事變以來廣民の東京それ、一八事變以來廣民の東部是の資磁を以て大要左の如く整線を以て大要左の如く 經過及び棉花の他の穀類に除指導員より支部創立に

のファッショ少年

イカ

ル

深田悠藏

開原農村の福幸

金融合作社成

縣公署にて

發會式

後 世 中 子 二

茂望

世界

ムッソリニーの議會改 米國のニラ運動は何處 廣田外交は日ソ關係を打開し

(四)

金滿を埋むる奉祝旗

各地における奉祝準備

か御命名式の當日

の資産を制御大連宏清音等は今校

▼滿ソ國境白系 マ福建とは何んな處かる福建革命に躍る人名 マ福建革命の政治理論の政治理論と解説を 一個 東京 一個 東東 一個 東東 一個 東東 東東 東東 東東 東東 東東東 東東 大黒龍江を遡る四中書面

科學 ▽無音砲と消音兵器 ▽無音砲と消音兵器 ▽無音砲と消音兵器 で見女は自由に分娩。 特別

島の台灣語

>軍用犬と食餌
>犬の系統物語

野 加 茂 御

京四三二四〇米

寒流井



西澤勇志智 錢三料送 店出版 成番

美酒のいろ

分娩出來ぬかの場所を

お化粧の科學

劃期的大庫 二萬部県特價 賣》全國書 全國百貨

志摩莲夫

なる

本的日本昔

を探 正木不如丘

第三九八 第三九八 第三九八

白石幸三

既に覺悟

國線の貨物輸送

成績良好

『季天』 鰹路機局では送欠路響を つゝあるが繁四期路響を成も十二 独 方面百名を養成し終るので一先づ日 る 本人路響変成を持切り次呼ば消人 各 本人路響変成に総るので一先づ日 る

でいっながれる身さなってから後 でいっながれる身さなってから後 でいっながれる身さなってから後

質困者に配給 八員及び方法等の調査も終り 奉天同情週間總決算

貧困者に寄附 ■大】 年末が押し詰るさ共に貧

醫大自動車走破

壯途に

來る卅一日奉天を出發

部事を見た市内香い町十番地流江 服者疾患の 常行底配は和黙に同情し底域十二 等所を配出 本がら十銭が至は五十銭が、集め 配の如く祭 た家紙は金二個六十銭をこの常田 全町十八 の家族に送ってやって下さいさ二 十一個人 十一個人 十一個人 十一個人 1 大大阪 1 大阪 1

東邊道縱貫鐵道

本天省各學校

新酸

愛護村 屯

會鐵道

二篇(音樂屯

滋强劑

期成猛運動開始 安東で具體策決定

總局の能率を増進

來る二月一日より實施

行业七日附近

主總會

本家 虎屋和 天阪市旭區今市町

盲膓炎患者の福音

切らずに治る漢法の名薬

制送金判費即時側回

酵母主薬

ty X

小光外 新線

源院

全班指題也

淋病消湯2字留神湯

【三號(恢復期用)=一八〇錠人 二円五十美 = 五四〇錠人 七円廿美 文は染料不要一部 二號(無鱗期用)=一八〇錠人 二円八十美 = 五四〇錠人 八円十美 直接前金御任例)一號(有鱗期用)=一八〇錠人 二円八十美 = 五四〇錠人 八円十斐 | 各薬店にあり

參天堂株式會社學術

日本橋薬局

旅順宮崎典獄の發意により

正月餅を贈つて慰安

既教の量 如り像を置つて勘袋軟化に努める ふべきである を実績を 片の読ひ除きへ口にされない事を 最が共帰的歌したもので奇を 数化上に 配は映書に酔ふ巡帯に際しても一 成様であるのに配か百齢名 断り大に 名あるがいづれも引取人もなく他 地方面で行つて来た結果部 のであるのに配か百齢名

***大型:の肚臓に難じ一行中の 【**大型 郷路郷院に解釈以来一路 十三日三萬二千、二十四日三萬五 本人路響選成に認る 歌家一世君はその継々しい沈小な は、一日本地三萬二千地、下館 破は出来ないのですが沿線各脚 五日途の平域は二萬四千地で終二 「大二十五日三萬五千の各軸で本」 り看手の筈である 歌家で一月下師 でおした丈夫ださいふ使りな 一手戦の指加を来じて居り二十一日 し、水箱し大丈夫ださいふ使りな 一手戦の指加を来じて居り二十一日 である 大丈夫ださいふ使りな 一手戦の指加を来じて居り二十一日 である 大丈夫ださいふ使りな 一手戦の指加を来じて居り二十一日 である 東・亞 民族 共存 共 学 へ 「中央では、「中央の指加を来じて居り二十一日 「東・亞 民族 共存 共 学 へ 「中央では、「中央の指加を来じて居り二十一日 「東・亞 民族 共 存 共 学 へ 「中央で表した丈夫ださいな使りな 「一年の新加を来じて居り二十一日 「東・亞 民族 共 存 共 学 へ 「中央で表したが、何れ」 「中央の新加を来じて居り二十一日 「東・西 民族 共 存 共 学 へ 「中央で表した文表ださいな使りな 「中央で表」 「 王道光復の

氣の毒な出獄者に 刑務所員の贈り物

歌治の學想たる民生の充賞、文化。 「新京」滿洲國歌府においては全。の前とな製造に着手した。 しき大同三年を述べるに際も主演がに配布することとなり版に大部分 を完成される「製造に着手した。」 に配布することとなり版に大部分 に配布することとなり版に大部分 に配布することとなり版に大部分 に配布することとなり版に大部分

ポスター配布

五十萬枚を全滿に

商議で廣告圖

スグ實効散を

カゼ熱だ

冬が迫つて來る 日い牙をむいて

三 五十歳、三十日 三 大十歳、三十日 三 大十歳、三 日 二

婦人用防寒

翌年午内の御話文期日正確に御調製申上候

案文案作成

捕る 嚴寒の 序曲

モーコング

レヅハ文註

德珍門次郎

會和一個

田

なる衡器を撰む 信用を重んずる 商人は最も正確





多年苦心の結果大蒜の悪臭をのぞく事を年苦心の結果大蒜の悪臭をのぞく事をもつても長壽味噌ご名で成功教もまもたこれに配するに果實、成功教もまもたこれに配するに果實、成功教もまもたこれに配するに果實、

活動力の源泉虚弱者の福音

改美"

大連市外沙河口春柳屯七四大連市外沙河口春柳屯七四

造

元賣發

『東京特體二十七日韓』総管少女 を行った結果。 ・ ボリの各地に行く管で斡旋役 は忠立した。 ・ ボリの各地に行く管で斡旋役 は忠立した。 ・ ボリの各地に行く管で斡旋役 は忠立した。 ・ マストローク氏はモスクワで交換 は忠立した。

事さなつた、かくて松竹レヴューを行つた結集、モスクワミレニン

ラードで各十日間づい公演する

八月渡歐の途に來滿

保護者會費を

請求され

辨償

磐城信用組合

の村地俊治氏

は質力二段さ

「発表を貸け

歸連を待つて取調べ

勉强の好きな

競意取調べを進め 一般を解析し、これを確立ていいます。 一個人であるが、そ、関を解析し、これを確立ていいっくであるが、そ、関を解析し、これを確立ていいっているが、そ、関を解析し、これを確立ていいます。 一個人であるが、そ、関を解析し、これを確立ていいます。 一個と解析し、これを確立ていいます。 一個と解析し、これを確立ていいます。 一個と解析し、これを確立ていいます。 一個と解析し、これを確立ていいます。 一個と解析し、これを確立ていいます。 一個と解析し、これを確立ていいます。 一個と解析し、これを確立ていいます。 一個と解析し、これを確立ていいます。 一個と解析し、これを確立といいます。 一個と解析し、これを述る。 一個と解析し、これを述る。 一個と解析し、一個に解析し、一個に解析

で保護者輸出任総事であつた村地

(K)

景

負ひ立つ鯉幟

職和に於ける秘等、中等、一般和教育部の劉表によれば一

左の如し

全就學者の六割三分

(日明金

歸つたら正しい認識を傳へる

ミス満鐵來奉し語る

日

日本の指導の方が

満洲税關吏も參加か **枕務吏、煙草賣捌店等**々

達プローカー、更に奇怪なのは直接その監督者の立場にある民政署達プローカー、更に奇怪なのは直接その監督者の立場にある民政署でれてるた事性が端しなくも大連憲兵分隊の開き込みにより民衆の前に韓出されるに至つた、事代のばれてるた事性が端しなくも大連憲兵分隊の開き込みにより民衆の前に韓出されるに至つた、事代のばれてるた事性が端しなくも大連憲兵分隊の開き込みにより民衆の前に韓出されるに至つた、事代のばれてるた事性が端しなくも大連憲兵分隊の開き込みにより民衆の前に韓出されるに至つた、事代のが満し、極日に一種配の上翼大な煙草が何等支際なくスライくさ大連港を経て支那治般権太線に積み込まれ、然日に一種配の上 日分除に手彫、管日における満洲國側税關につき取調を開始したの態輸出人程度ではなくこの間や正事党が幾多介在してゐる事の見極めがつき、大連憲兵実大な煙草が秘密のきちに大連より管日に運ばれたかについて隠まで追究し、蘇く事代が避免をはこめ民政器秘秘吏、用塞アローカー中尼某、煙草能騰度與等を連日に真げ召喚、総長をはこめ民政器秘秘吏、用塞アローカー中尼某、煙草能騰度與等を連日に真げ召喚、 人港中の永生公司所有

来人植致事性の主人公醫師ネ庭って監禁の身となってゐた

匪賊

の巢を衝

3

独盗の罪

情狀酌量の餘地

は多々あるが

**法院で公判ご決定

一 販のため拡致され減半ケ年入特億二十八日盛〕 仙殿にお

極煙草三萬本の密輸を 營口税關東が依賴

混はかうだ、過般市内某煙草大一級煙草約三萬本の託送方な依頼を一 避店が終日滿洲國稚園更より高 れたに對し その資子たる市内一三へ一つに事党を打明けたさころ

中尾は早速総意な術太號艦長家在中尾は早速総意な術太號艦長家在 はつ、まる を使くべき不正事質が綴々明る を使くべき不正事質が綴々明る を抱くべき不正事質が綴々明る の推移如何によつては関係各方 の推移如何によつては関係各方 の進移が何によっては関係各方 でもって見られてゐたダークサ なもって見られてゐたダークサ なもって見られてゐたダークリ なもって見られてゐたダークリ ない。 をして見られてるとが一般を をして見られてるとが一般を をして見られてると、 のにといる。 でしている。 のにといる。 のにと、 事情を明かし、約三萬本の煙草を移す)が現場監視の戦後中を幸ひ が此の事質が當地憲兵分隊の採却

市役所御用納式

御用約式な行い市長。警長よりそ 大連市役所では二十八日午前十一 大連市役所では二十八日午前十一 れる一部示を甦へた

程来はわかりません

避々太平洋を越えて途中日本に立 ら早川氏、総局から渡邊氏が出るス・ロビンソン螺には紫を同能 郷華、ブラツトホームには清嬢がシス・ロビンソン螺には紫を同能 郷華、ブラツトホームには清嬢が 八日午後二時安泰線にて奉天驛に常野して五百ドルを費つた上に、 寄り、内地を見物し態総經由二十 常野して五百ドルを費のた上に、

らで何をしてゐたか

結婚 家宅職會を行った經典ダムダム職 公雅に附せられる事でなった情かす情つくき娯楽であるさ、 都教結、強盗不法逮捕監察

の一人ですがアメ

かなヤンキー娘さばの

銀行利用者に一大不安を興く、當上なかつたが選束に於ける同事作ははかつたが選束に於ける同事作はは

歳末の新京に

正隆支店で六百圓盗まる

のと知く板倉が

日滿稅關

年始の休業

待

と同期間中は一般貨物及び小荷物 手荷物及び附属小荷物は平常通りは、年末年始に際した肥料間保業 野菜の如う意図が要するもの並には、年末年始に際した肥料間保業 野菜の如う意図が要するもの並に 東天特電二十八日孁 大連安東 に動しては通りの取扱ひなしない

匿名氏貧困者寄附

こしては単に税關俱樂部 される程度のもので、大 をないさいふ經い氣持 たなしたなで、 計画的脱 たなしたなで、 計画的脱 たなしたなで、 計画的脱 たなしたなで、 計画的脱 でして私腹を肥やすなご 海は狭してあるまい 三思 海は狭してあるまい 三思 海は狭してあるまい 三思 海は狭してあるまい 三思 をするなって見れば勿論 日一弊に御用網吹きなり、二十九 でもすなって見れば勿論 日一弊に御用網吹きなり、二十九 でもすなって見れば勿論 日一弊に御用網吹きなり、二十九 でも手續上の溶度は充分 日より明年一月三日まで体架する でも手續上の溶度は充分 日より明年一月三日まで体架する 二十八日離奉 こさになったが、省公署において は元正は午前十時より大蔵堂において いて各種観験と乗めて年賀の式いて各種観験と

イルソン牧師

二六•四%

客を待

落度は認め

いれるであら

一場の狀況を通告する。

大宣傳を開始する驛

垂 撫順老虎臺の積雪八寸に達し のスロープ

滿日废告部

店

開

ラヂオ

引割大

東西電氣工業所要に対して、東西電気工事受負

出發一月三日、日數二十日、團費九十八圓

伊勢参拜

園募

は他の場所は登都・服等のため、 電像機能は土地であるため、 海は他の場所は登都・服等のため を完全スキー場唯一つな宣傳の員 場の設備改善

時計干額特売+1月1899 某商店整理品+1月1877

小臨時開闢し重切三で、 一車扱い名牌は毎日、サでは一車扱いのでは一車扱いのでは、 一月一日を除っては一車扱い名牌は毎日、サ 日本側稅關

大連市浪速駅 宮崎尚明堂 東語五九一八番

御相談に應じますの總業に関する總での

電話六五四四番人

T

鑛 業

所

吉野町(電話七九七四)

月二日締切

松竹梅の亂賣 御菓子は

喜久屋へ

計

組

金

七圓以

製致します

例年の通正月用御重詰調

日の兩日は元償を切って別 **専門** (八時間奉 世六〇六世

來る廿九日限

町

御用命の程願上ます

電二二二〇番

重富醫院

御家庭用に

・ F(1人) を呼出し取調べた 言系器の手配により二

フロシキル 加工綿布 フトン綿 ズボン各 ふきん

各種作業服 御贈答用に

多綾部商店 西通八二 電二六九一

は羽戸。電無焼かまぼC ●軍隊其他大量の御註文は特に御便宜御計り申上ます 大量生産を 腎臓病に王蜀黍毛 日本橋藻号 は羽月商店 し下さ

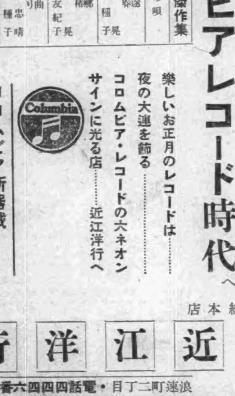


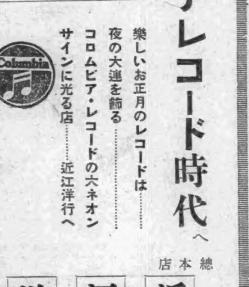
の蛇賊を従ったが返したのき」 一人である尚部平太君が「嘛に 一人である尚部平太君が「嘛に けは確にもつたらうき思ふれー 世は擧げて コロム コロムビアモンス傑作集 國民歌非常時日本の唄 流行唄 流行唄 エホンシャウカ(冬の巻) 乙言 実の 腹町 整本二二 本で 本二二 あり 行行を が進 日田本 紀 子 り曲 紀 子 如艾 赦 平春途 野 種忠 子晴 ビア 租子晃 田田 樂しいお正月のレコードは 夜の大連を飾る サインに光る店 コロムピア・レコードの六ネオン コロムビア新器械 四十五順以上 全部取揃 ド時代 近江洋行へ 店本總

の要位のやうなものでれ」

くさ「既なんて

んてものは見そ







康美時代

クラブ肌色白粉で ラブ美身クリームに ミングな濃化粧も な淡化粧も



クラブ肌色 クラブつぼみ



定計ある

9 8

6 0

大り

司

本年度最新型·多數入荷

高

級

ラ

ヂ

米國製 •••• 五球式より九球式迄 國產品 •••• •三球式 •四球式这 價・・・・・・{¥25 の大衆品より ¥215 の 豪華品送

阿試便歡迎 ラヂオ全般・電氣蓄音器 强力增幅器·其

最古の店. ..最新の技術 大連市伊勢町 奉天平安運 新京 親町 [電四二五七] 【電二四八九】 【龍三九〇七】